Canon

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90005

受付時間：平日 9:00～20:00
土・日・祝日 10:00～17:00
(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
http://canon.jp/bebit/

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 デジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc/

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support/

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

Li-ion リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

CDI-J309-010 XXXXXXX PRINTED IN JAPAN

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot TX1 カメラユーザーガイド 応用編

Canon

CDI-J309

キヤノンデジタルカメラ

PowerShot TX1

応用編



カメラユーザーガイド

本書ではカメラの機能や使いかたを詳細に説明しています。

DiG!C III CANON iMAGE GATEWAY PictBridge DIRECT PRINT BUBBLE JET DIRECT Exif Print DPOF CERTIFIED HI-SPEED USB

主な特長



撮影

- レンズシフト式手ぶれ補正機構付き光学 10 倍ズーム
- 高感度ISO設定やISOブースターで手ぶれや被写体ぶれを抑えて撮影
- 人物の撮影に最適な顔優先 AF
- アスペクト比［16：9］、記録画素数 [1280 × 720] の動画撮影（ステレオ録音）
- どの撮影モードでも、動画ボタンを押して動画撮影

再生

- ハイビジョン対応テレビに接続可能（D3 対応）
- スライドショーで自動再生
- カテゴリーに分けて画像を管理

編集

- 赤目を補正
- 静止画に色効果をつける（レタッチマイカラー）
- 動画を編集

印刷

- イージーダイレクトボタンで簡単印刷
- キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンターでも印刷可能

撮影した画像の活用

- イージーダイレクトボタンで簡単にパソコンへ転送
- マイカメラ機能で、カメラの起動画面や起動音を、自在にカスタマイズ
- オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」で、オリジナルアルバムの作成、公開

このガイドの表記について

見出しの横または下にあるマークは、この操作が行える撮影モードを表しています。



・グレー表示の撮影モードでは操作できません。

● 巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このカメラでは、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、マルチメディアカードおよび MMC*plus* カードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

取り扱い上のご注意

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前に本書、および基本編の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプター（別売）
- バッテリー：バッテリーパック

⚠警告 この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

⚠注意 この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠警告

本機器

●カメラを太陽や強い光源に向けないでください。

撮影素子（CCD）が損傷する場合があります。

●お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。

・リストストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・メモリーカード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●分解、改造しないでください。

●落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。

●煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。

●内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず、バッテリーを外すか、バッテリーチャージャー、あるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災、感電の原因となります。

バッテリー

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外のバッテリーを使用しないでください。

バッテリーの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●バッテリーを充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他のバッテリーや製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

⚠注意

本機器

●リストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

●風通しの悪いところで使用しないでください。

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●使用しないときは、バッテリーを取り出し、保存してください。

カメラに、バッテリーを入れたままにしておくと、バッテリーが消耗します。

ストロボ

●発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。

●発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●連続発光後、発光部分に触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動､破壊を防ぐために

●カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露 (水滴) が発生することがあります。

結露が発生したときは

●カメラを使用しないでください。

故障の原因になります。
カメラを使う場合は､メモリーカード、バッテリー、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

ご使用の前に - 基本操作

液晶モニターの使いかた

1 (DISP.) を押す

●DISP.ボタンを押すたびに、次のように切り替わります。

撮影モードのとき
(、M、SCN)

情報表示なし
↓
情報表示あり

再生モードのとき
()

情報表示なし
↓
簡易表示
↓
詳細表示

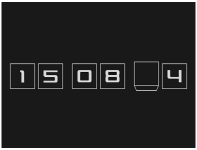
●撮影の設定を変更したときは、液晶モニターの設定に関係なく約6秒間撮影情報が表示されます。

- 液晶モニターの設定は、電源を切っても保持されます。
- 拡大表示時（p. 74）、インデックス再生時（p. 75）は、詳細表示に切り換わりません。

時計を表示する

現在の日付と時刻を5秒間*表示する方法が、2 通りあります。

＊初期設定



①マルチコントローラー（FUNC./SET）を押しながら、電源を入れる

②撮影 / 再生モード時にマルチコントローラー（FUNC./SET）を 1 秒以上押す

カメラを縦にすると時計を表示し、横にすると時計 / 日付を表示します。

- 時計の表示中にマルチコントローラーを ←/→ に押すと、表示色を変更できます。
- 時計の表示時間が経過するか、次の操作のためにボタンを操作すると時計表示が終了します。
- 時計の表示時間は、［ 設定］メニューで変更できます（p. 27）。
- 拡大再生時（p. 74）、インデックス再生時（p. 75）は、時計は表示できません。

液晶モニターの明るさについて

液晶モニターの明るさの変更方法

次の 2 つの方法があります。

- **設定メニューで変更する（p. 26）**
- **「LCD ブースター」機能で変更する**

  DISP.ボタンを1 秒以上押すと、設定メニューで選択されている明るさにかかわらず、最大の明るさに変更できます*。

  - 元の明るさに戻すとき：再度、DISP.ボタンを1 秒以上押す
  - 次回電源を入れたとき：設定メニューで選択されている明るさで表示される

＊すでに、設定メニューで最大の明るさに設定されている場合は、変更できません。

「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも構図を決めやすくなります。

＊液晶モニターにノイズが表示されたり、表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報（撮影モードのとき）

エリア設定（p. 19）

ズーム倍率（p. 33）

デジタルテレコン（p. 33）

マクロ / 遠景モード（基本編 p. 15）

(･･･)*
ISO 感度（p. 65）

ストロボ（基本編 p. 14）

撮影方法（p. 37、基本編 p. 16）

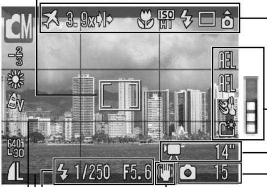
縦横自動回転（p. 69）

● 録画　動画撮影（p. 39）

バッテリー残量低下（p. 127）

[ ] スポット測光枠

AF 枠（p. 47）



AE ロック（p. 50）

FE ロック（p. 51）

AF ロック（p. 49）

ウインドカット（p. 44）

フォルダ作成通知（p. 70）

バッファー警告**

手ぶれ補正（p. 32）

/シャッタースピード/絞り数値*

3：2 ガイド（p. 38）

グリッドライン（p. 38）

動画　：記録可能時間 / 記録時間
静止画：記録可能画像数

撮影モード（p. 35、p. 45、p. 60、p. 62、基本編 p. 12 ～ 13）

･･･ 露出補正（p. 52）

･･･ 長秒時撮影（p. 53）

ホワイトバランス（p. 54）

マイカラー（p. 57）

アスペクト比（p. 30）

記録画素数 / フレームレート（動画）（p. 41）

圧縮率（静止画）（p. 31）

記録画素数（静止画）（p. 31）

（赤）*手ぶれ警告（p. 115）

露出シフトバー（動画）（p. 40）

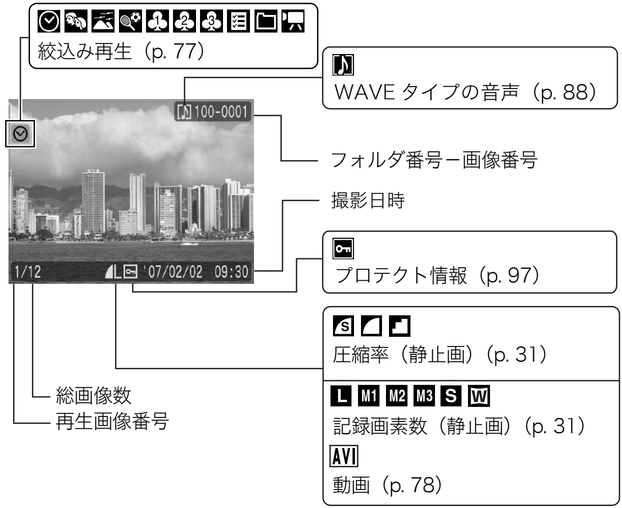
＊ シャッターボタンを半押しすると表示されます。ただし、ストロボ発光時はカメラが ISO 感度、シャッタースピード、絞り数値を自動的に最適条件に再設定するため、再生情報の表示と異なる場合があります。

＊＊ 動画記録時に内部メモリー（バッファー）が半分以下になると表示されます（バッファー警告がいっぱいまで点灯すると、撮影や記録を途中で中止する場合があります）。

手ぶれ警告アイコン（）が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。以下の方法で撮影してください。
- 手ぶれ補正を［切］以外に設定する（p. 32）
- ISO 感度を上げる（p. 65）
- ISO ブースターを［入］にする（p. 66）
- ストロボを（発光禁止）以外に設定する（基本編 p. 14）
- 三脚などでカメラを固定する

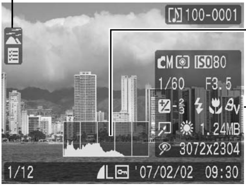
再生情報（再生モードのとき）

■簡易表示



■詳細表示

マイカテゴリー（p. 76）



ヒストグラム（p. 18）

露出補正（p. 52）

ストロボ（基本編 p. 14）

マクロ / 遠景モード（基本編 p. 15）

マイカラー（p. 57）、ワンポイントカラー/ スイッチカラー(p. 60)

レタッチマイカラー（p. 86）

赤目補正（p. 83）/ レタッチマイカラー（p. 86）の画像

ホワイトバランス（p. 54）

ファイルサイズ

赤目補正

記録画素数（静止画）（p. 31）
記録時間（動画）（p. 39）

撮影モード（p. 35、p. 39、p. 45、p. 60、p. 62、基本編 p. 12 ～ 13）

動画撮影中に記録した静止画の画像（p. 43）

測光方式（p. 51）

ISO 80 ･･･ ISO 1600
ISO 感度（p. 65）

640 640 LP 320 1280 1280 LP 30 60
記録画素数 / フレームレート（動画）（p. 41）

シャッタースピード

絞り数値

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

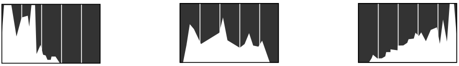
♪?	WAVEタイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
▲	DCF（p. 137）の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
?	認識できないタイプです。

他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、画像の明るさを判断する目安となるグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します(p. 52)。

ヒストグラム例



暗い画像　　普通の明るさの画像　　明るい画像

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約 3 分間、何も操作しないとき。節電機能が［切］でも、液晶モニターを表示して約 1 分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます。(電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます。)
再生時 プリンター接続時	約 5 分間、カメラの操作を何もしないとき

*時間を変更できます。

- スライドショーで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p. 27）。

世界時計を設定する

海外へ旅行するときなど、あらかじめ訪問先（旅行先）のエリアを登録しておくと、エリアを切り換えるだけで、登録したエリアの日時で記録できます。日付 / 時刻を設定しなおす必要がなく便利です。

自宅 / 訪問先のエリアを設定する

1 **(設定)メニュー ▶ [エリア設定] ▶ (FUNC./SET)**

メニュー操作（p. 23）



2 **(自宅) ▶ (FUNC./SET)**



3 **マルチコントローラーを ←/→ に押し、自宅エリアを選ぶ ▶ (FUNC./SET)**

- サマータイムを設定する場合は、マルチコントローラーを ↑/↓ に押して、☀ を選び、設定します。時刻は1時間プラスされます。



4 ✈(訪問先)▶(FUNC./SET)



5 マルチコントローラーを←/→に押し、訪問先エリアを選ぶ▶(FUNC./SET)

- 手順 3 と同様に、サマータイムを設定できます。

自宅エリアからの時差



6 マルチコントローラーを↑に押し、[自宅/訪問先]を選び、←/→に押して🏠を選ぶ▶(MENU)

訪問先の日付に切り換える

1 (設定)メニュー▶[エリア設定]▶(FUNC./SET)

メニュー操作(p. 23)



2 マルチコントローラーを←/→に押し、✈を選ぶ▶ (MENU)

- 訪問先のエリアを変更する場合は、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。
- 訪問先の日付に切り換えると、液晶モニターに✈が表示されます。



訪問先が選択されているときに、日付 / 時刻の変更を行うと、自宅の日時も自動的に変更されます。

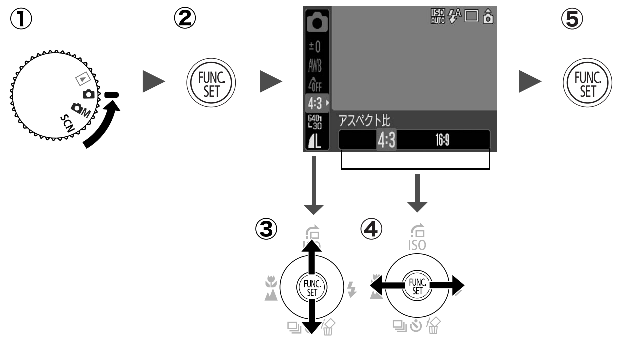
メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って設定します。次のメニューがあります。

- **FUNC. メニュー**
- **撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー**

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。



・（オート）時の画面例です。

① **モードダイヤルを 、M または SCN にする**

② **マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す**

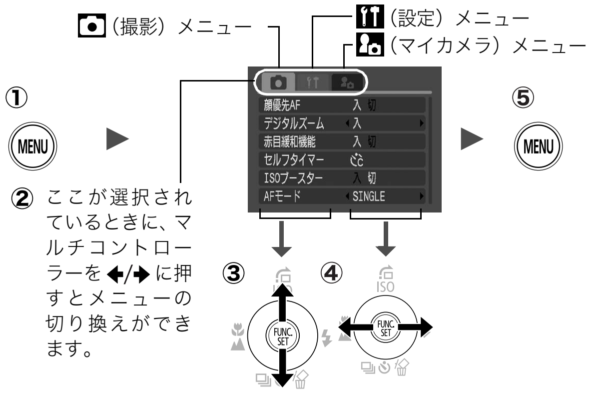
③ **マルチコントローラーを ▲/▼ に押してメニュー項目を選ぶ**
　・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

④ **マルチコントローラーを ◀/▶ に押して設定内容を選ぶ**
　・設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。
　・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ **マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す**

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。



・(オート) 時の撮影メニューの画面例です。
・再生時は、再生 / 印刷 / 設定 / マイカメラメニューが表示されます。

① MENU ボタンを押す

② マルチコントローラーを ←/→ に押してメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ マルチコントローラーを ↑/↓ に押してメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ マルチコントローラーを ←/→ に押して設定内容を選ぶ

・「. . . 」のある項目では、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度マルチコントローラー（FUNC./SET）を押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

メニュー一覧

巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定を表します。

項目	参照先
マニュアルモード	基本編 p. 11
スペシャルシーンモード	基本編 p. 11
露出補正	p. 52
長秒時撮影	p. 53
ホワイトバランス	p. 54

項目	参照先
マイカラー	p. 57
アスペクト比	p. 30
記録画素数 / フレームレート（動画）	p. 41
記録画素数/圧縮率(静止画)	p. 31

撮影メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
顔優先 AF	入＊ / 切	p. 47
デジタルズーム	入＊ / 切 / テレコン 1.5x/ テレコン 1.9x	p. 33
スローシンクロ	入 / 切＊	p. 36
赤目緩和機能	入＊ / 切	p. 36
セルフタイマー	時間：0 〜 10 ＊、15、20、30 秒 枚数：1 〜 3 ＊〜 10 枚	基本編 p. 16
測光方式	＊ / /	p. 51
ISO ブースター	入 / 切＊	p. 66
AF モード	SINGLE ＊ /CONT	p. 46
AF 補助光	入＊ / 切	p. 116
撮影の確認	切/2秒＊〜10秒/ホールド	基本編 p. 11
オリジナル保存	入 / 切＊	p. 64
鏡像表示	入＊ / 切	基本編 p. 8
自動カテゴリー	入＊ / 切	撮影時、自動でカテゴリーに分類するかどうかを設定します。＊1

撮影ガイド	切* / グリッドライン / 3：2 ガイド / 両方 /	p. 38
手ぶれ補正	入* / 撮影時/ 流し撮り/切	p. 32
ボタン機能登録	*/ / / / / / / /	p. 67

*1 次のカテゴリーに分類されます。

（人物）： 、 、または顔優先 AF で［入］を選択し、顔が検知された画像

（風景）：

（イベント）： 、 、 、

再生メニュー

項目	参照先
スライドショー	p. 92
マイカテゴリー	p. 76
消去	p. 102
プロテクト	p. 97
赤目補正	p. 83
レタッチマイカラー	p. 86
音声メモ	p. 88
サウンドレコーダー	p. 90
回転	p. 81
送信指定	p. 108
動画ボタン機能登録	p. 99
再生効果	p. 82

印刷メニュー

項目	参照先
印刷	p. 104
印刷する画像を指定	
日付で指定	
マイカテゴリーで指定	
フォルダで指定	
すべての画像を指定	
すべての指定を解除	
印刷の設定	

設定メニュー

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	［入］にすると、警告音以外はすべて鳴りません（基本編 p. 10）。
音量	切 / 1 / 2＊/ 3 / 4 / 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、［消音］が［入］になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影の2秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画、音声メモまたはサウンドレコーダーの再生音量を調節します。
オーディオ		p. 44
マイクレベル	オート＊ / マニュアル	録音音量の調節方法を設定します。
録音レベル	− 40 ～ 0dB	録音音量を設定します。
ウィンドカット	入 / 切＊	風による雑音を低減します。
液晶の明るさ	− 7 ～ 0 ＊～ + 7	マルチコントローラーを ◆/◆ に押して液晶モニターの明るさを調整します。

節電		p. 18
オートパワーオフ	入＊ / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10 秒 /20 秒 /30 秒 / 1 分＊ /2 分 /3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。
エリア設定	自宅＊ / 訪問先	p. 19
日付／時刻		基本編 p. 9
時計表示	0 ～ 5 ＊～ 10 秒 / 20 秒 /30 秒 / 1 分 /2 分 /3 分	p. 13
カードの初期化		物理フォーマットも設定できます（p. 29）。
画像番号	通し番号＊ / オートリセット	p. 72
フォルダ作成		p. 70
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切＊ / 毎日 / 月曜～日曜 / 毎月	自動作成する時間も設定できます。
縦横自動回転	入＊ / 切	p. 69
距離表示	m/cm ＊ /ft/in	AFの範囲を示す距離表示の単位を設定します（基本編 p. 14）。
レンズ収納時間	1 分＊ /0 秒	撮影モードから再生モードに切り換えたときの、レンズの収納タイミングを設定します。
言語		基本編 p. 9
ビデオ出力方式	NTSC ＊ /PAL	p. 134
印刷接続方式	自動＊ /	下記参照＊1
初期設定		p. 28

＊1 プリンターとの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、W（ワイド）で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP730/CP720/CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは を選択してください。
この設定は電源を切っても記憶されますので、W（ワイド）以外の画像サイズを印刷するときは、［自動］に戻してください（ただし、プリンター接続中は変更できません）。

マイカメラメニュー

＊初期設定

項目		内容	参照先
	セット	起動画面、起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音に共通するテーマを選びます。	p. 110
	起動画面	電源を入れたときの起動画面を選びます。	
	起動音	電源を入れたときの起動音を選びます。	
	操作音	シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音を選びます。	
	セルフタイマー音	セルフタイマー撮影で撮影の2秒前をお知らせする音を選びます。	
	シャッター音	シャッターボタンを全押ししたときの音を選びます（動画撮影時には鳴りません）。	
設定内容		（切） / 1 * / 2 / 3	

設定を初期状態に戻す

1 **（設定）メニュー ▶［初期設定］**

メニュー操作（p. 23）



2 **［OK］を選び、FUNC SET を押す**

- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - ［（設定）］メニューの［エリア設定］、［日付 / 時刻］、［言語］、［ビデオ出力方式］の設定（p. 27）
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ（p. 55）
  - ［ワンポイントカラー］（p. 60）と［スイッチカラー］（p. 62）で取り込んだ色
  - 新しく登録したマイカメラコンテンツ（p. 111）

メモリーカードを初期化する

新しいメモリーカードをお使いになるときや、メモリーカード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化します。

- 初期化すると、メモリーカードに記録された画像(プロテクト画像も含む)だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- 🎙のアイコンが画面に表示されているときは、サウンドレコーダーのデータが残っています。十分に確認してから、初期化してください。

1 (設定)メニュー▶[カードの初期化]

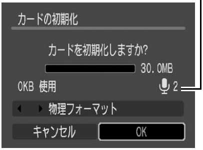
メニュー操作(p. 23)



2 [OK]を選び、(FUNC./SET)を押す

- 物理フォーマットをする場合は、マルチコントローラーを▲に押して[物理フォーマット]を選び、◀/▶に押してチェックをつけます。
- 物理フォーマットの場合、初期化中にマルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、中止できます。中止した場合でも、そのメモリーカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。

サウンドレコーダーのデータ(p. 90)がある場合に表示されます。



- 物理フォーマットについて
  <u>メモリーカードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合</u>などは、[物理フォーマット]を選択することをおすすめします。なお、メモリーカードによっては、物理フォーマットに2～3分かかる場合があります。
- スティッチアシストでは、操作できません。

アスペクト比(縦横比)を設定する

撮影モード

縦横の比率を変えて撮影できます。
16：9 を選ぶと、ハイビジョン対応のテレビで再生したり、ワイドサイズの用紙に印刷したりするのに適したサイズの画像が撮影できます。

1 FUNC.メニュー ▶ 4:3 *(4:3) / 16:9 (16:9)

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定



- マルチコントローラーを ←/→ に押してアスペクト比を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET) を押します。
- 静止画を撮影するとき
「記録画素数と圧縮率を変更する(静止画)」(p. 31)をご覧ください。
- 動画を撮影するとき
「記録画素数/フレームレートを変更する(動画)」(p. 41)をご覧ください。

のアスペクト比は [4：3] 固定です。

記録画素数と圧縮率を変更する(静止画)

撮影モード

1 アスペクト比を設定する

アスペクト比(縦横比)を設定する(p. 30)

2 FUNC.メニュー ▶ *▶ L(記録画素数)▶ (MENU) ▶ (圧縮率)

メニュー操作(p. 22)

*初期設定



- マルチコントローラーを ←/→ に押して記録画素数/圧縮率を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。

記録画素数を選ぶときの目安

■アスペクト比 [4:3] の場合

記録画素数			用途
L ラージ	3072 × 2304 画素	大きい	A3 サイズ程度に印刷するとき
M1 ミドル 1	2592 × 1944 画素	↑	A4 サイズ程度に印刷するとき
M2 ミドル 2	2048 × 1536 画素		A5 サイズ程度に印刷するとき
M3 ミドル 3	1600 × 1200 画素		L判やはがきサイズに印刷するとき
S スモール	640 × 480 画素	↓ 小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき

■アスペクト比 [16:9] の場合

記録画素数		用途
W ワイド	3072 × 1728 画素	ワイドサイズの用紙に印刷するとき(縦横比 16:9 の画像が記録されます。記録されない領域は、液晶モニター上に黒帯が表示されます。)

圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- 1 画像の容量（目安）（p. 143）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）（p. 141）

手ぶれ補正を設定する

撮影モード

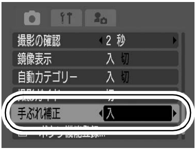
レンズシフト式手ぶれ補正を使うと、遠くの被写体を大きくして撮影したいときや、薄暗い場所でストロボを発光しないで撮影するときでも手ぶれを抑えた撮影ができます。

	入	常時、手ぶれを補正します。液晶モニターで手ぶれ補正の効果を確認できるため、構図を決めたり、ピント合わせがしやすくなります。
	撮影時	シャッターがきれる瞬間のみ手ぶれを補正します。[入］に設定した場合に被写体によっては感じることのある、液晶モニター上の不自然な揺れを気にせずに撮影できます。
	流し撮り	カメラが上下方向にぶれたときにだけ、手ぶれを補正します。横方向に動いているものを、カメラで追いかけて撮影するときにおすすめします。

1 **(撮影)メニュー▶[手ぶれ補正]▶[入]*/[撮影時]/[流し撮り]/[切]**

メニュー操作(p. 23)

＊初期設定



- シャッタースピードが遅くなる撮影では、手ぶれを補正しきれないことがあります。三脚を使って撮影してください。
- 手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- ［流し撮り］は、カメラを縦に構えてお使いください（カメラを横に構えると補正を行いません）。
- ［撮影時］または［流し撮り］に設定後、動画を撮影する場合は［入］に設定変更されます。

デジタルズーム/デジタルテレコンで撮る

撮影モード

光学ズームと組み合わせて、拡大して撮影できます。
焦点距離（35mm フィルム換算）と特長は次のとおりです。

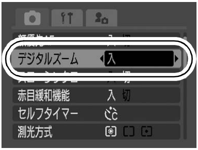
選択項目	焦点距離	特長
入	39～1560mm	光学ズームとデジタルズームの組み合わせで、最大約 40 倍に拡大して撮影できます。
切	39 ～ 390mm	デジタルズームを使わずに撮影します。
テレコン 1.5x	58.5～585mm	デジタルズームが選択項目の倍率に固定され、焦点距離が望遠側に移動します。同じ画角の撮影では、［入］や［切］のときに比べ、より速いシャッタースピードが利用でき、手ぶれしにくくなります。
テレコン 1.9x	74.1～741mm	

アスペクト比が［16：9］のときは、設定できません。

1 （撮影）メニュー▶［デジタルズーム］▶［入］*/［切］/［テレコン1.5x］/［テレコン1.9x］

メニュー操作（p. 23）

＊初期設定



- ［入］のとき
  「デジタルズームで撮る（下記参照）」をご覧ください。
- ［テレコン1.5x］/［テレコン1.9x］のとき
  「デジタルテレコンで撮る（p. 35）」をご覧ください。

デジタルズームで撮る

2 ズームレバーを側に押し、撮影する



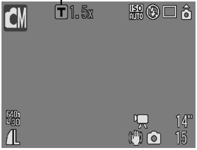
- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 設定された記録画素数に応じて、画像が粗くならない最大のズーム倍率でいったん停止し（セーフティズーム）、液晶モニターにが表示されます。再度、側へ押すと、さらに拡大できます。このとき、ズームバーの表示色は次の領域を示します。
  - ・白色：光学ズーム
  - ・黄色：デジタルズーム（画像は粗くなりません）
  - ・青色：デジタルズーム（画像が粗くなります）
- 側へ押すと、倍率が下がります。

デジタルテレコンで撮る

2 **ズームレバーで画角を調節し、撮影する**

- 液晶モニターに [T] と倍率が表示されます。
- 記録画素数によっては、画像が粗くなります（[T] と倍率が青色で表示されます）。

デジタルテレコン



> **デジタルテレコンについて**
> デジタルズームを使って、テレコンバーター（望遠撮影するためのレンズ）の機能を実現したものが、デジタルテレコンです。

至近距離で拡大して撮る（スーパーマクロ）

撮影モード

マクロ（基本編 p. 15）よりさらに被写体に近づき、より大きく撮影できます。レンズ先端から被写体までの撮影距離は 0 ～ 10cm（ワイド端固定）です。最も近づいたときは 16 x 12 mm の範囲を撮影できます。また、デジタルズームを併用したとき（最大約 4.0 倍）の撮影範囲は 4 x 3 mm です。

1 **FUNC.メニュー ▶ [CM]*（マニュアル）▶ [S]（スーパーマクロ）**

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定



赤目緩和機能を設定する

撮影モード

ストロボ発光時、自動的に赤目緩和*ランプを発光させるかどうかを設定します。
＊ストロボの光が反射して目が赤く写るのを軽減する機能です。

1 (撮影)メニュー▶[赤目緩和機能]▶[入]*/[切]

メニュー操作 (p. 23)

＊初期設定



スローシンクロを設定する

撮影モード

遅いシャッタースピードで、ストロボを発光して撮影できます。夜景や室内の照明を利用した撮影時に便利です。

1 (撮影)メニュー▶[スローシンクロ]▶[入]/[切]*

メニュー操作 (p. 23)

＊初期設定



三脚などでカメラを固定して撮影することをおすすめします。

連続して撮る

撮影モード

シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。
なお、推奨メモリーカード*をお使いの場合は、一定の撮影間隔でメモリーカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます（p. 141）。

＊推奨メモリーカード：
撮影の直前に物理フォーマット（p. 29）を行った超高速の SDC-512MSH（別売）

	通常連続撮影 約 2.2 画像 / 秒	短い撮影間隔で連続撮影したいときにおすすめです。
	AF 連続撮影 約 1.1 画像 / 秒	被写体を確認しながら連続撮影したいときにおすすめです。シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影し、連写中もピント合わせが行われます（AF ロック時除く）。

・ラージ・ファインモード時
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・連続撮影が中断したときに、メモリーカードの容量が余る場合があります。

1 マルチコントローラーを側に押し、▲/▼に押して または を表示する

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた：手順 1 で を選択する

- カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
- ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。
- 時は、顔優先 AF［切］で撮影します（p. 47）。

撮影ガイドを設定する

撮影モード

被写体の水平や垂直、縦横比 3：2 の印刷範囲を液晶モニターで確認しながら撮影できます。

グリッドライン	画面を 9 分割したラインを表示します。被写体の水平や垂直を確認できます。
3：2 ガイド	縦横比 3:2 で印刷できる範囲を確認できます*。印刷されない領域はグレーになります。 *記録される画像の縦横比は、通常画面と同じ 4:3 となります。
両方	グリッドラインと 3：2 ガイドの両方を同時に表示できます。

1 **(撮影)メニュー▶[撮影ガイド]▶[切]*/[グリッドライン]/[3:2ガイド]/[両方]**

メニュー操作（p. 23）

*初期設定



- グリッドラインや 3：2 ガイドは画像には記録されません。
- 動画撮影では、グリッドラインのみ有効になります。

動画を撮る

撮影モード

動画ボタンを押すだけで、動画を撮影できます（モードダイヤルを再生モードに設定している場合を除く）。
記録画素数 / フレームレートの選択（p. 41）ができ、「ワンポイントカラー」、「スイッチカラー」などと組み合わせても撮影できます。
また、音声はステレオで記録されます。

- 1 回の最大記録容量は 4GB ＊です。

＊記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

1 モードダイヤルを 、M または SCN にする

- 必要に応じて、各設定を行います。ただし、動画撮影時にお使いになれない機能があります（p. 152）。

2 動画ボタンを押し、撮影する

- 動画ボタンを押すと撮影が開始されます。
- 音声も同時に記録されます。
- 撮影中は、液晶モニターに撮影時間と［● 録画］が表示されます。
- 撮影中は赤いランプが点滅します。撮影終了後、動画の記録が終了すると消灯します。



- 再度動画ボタンを押すと、撮影が終了します。
  なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
  - 最長記録時間を経過したとき
  - カメラ内部のメモリーやメモリーカードの容量がいっぱいになったとき
- ワンポイントカラー（p. 60）、スイッチカラー（p. 62）で撮影する場合は、あらかじめ設定してください。

- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 29）。付属のメモリーカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイク（基本編 p. 3）に触れないでください。
  - 動画ボタン以外のボタンを押さないでください。ボタンを押す音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。

- 撮影中に、AE ロック（p. 50）と露出シフトができます。
  1. シャッターボタンを半押ししながら、マルチコントローラーを ▲ に押すと AEL が表示されます
  2. 再度マルチコントローラーを ▲ に押すと露出シフトバーが表示されます。
  3. マルチコントローラーを ◀/▶ に押し、露出を変更します。再度マルチコントローラーを ▲ に押すと、解除できます。
- このカメラで撮影した動画をパソコンで再生する場合は、付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/ImageBrowser）をお使いください。ただし、Windows 2000 をお使いの場合は、QuickTime が必要です。

記録画素数 / フレームレートを変更する (動画)

どの撮影モードでも、動画の記録画素数 / フレームレートを変更できます。選べる記録画素数 / フレームレートの種類は、アスペクト比の設定によって変わります。

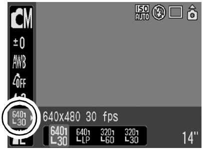
1 アスペクト比を設定する

アスペクト比（縦横比）を設定する（p. 30）

2 FUNC.メニュー▶ 640 L30 */1280 *

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定



- マルチコントローラーを ←/→ に押して記録画素数/フレームレートを選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押します。

記録画素数 / フレームレートについて

フレームレートは、1 秒間に撮影 / 再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

■アスペクト比［4：3］の場合

メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます（超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH））。また、撮影中にデジタルズームが使えます（p. 33）。

640 L30 ＊1	640 × 480 画素、30 フレーム / 秒
640 LP ＊2	640 × 480 画素、30 フレーム / 秒、LP
320 L60	320 × 240 画素、60 フレーム / 秒
320 L30	320 × 240 画素、30 フレーム / 秒

■アスペクト比［16：9］の場合

オリジナルのアスペクト比のまま、ハイビジョン対応のテレビに表示できます（20MB/s 以上の超高速タイプのメモリーカードをお使いになることをおすすめします）。

1280 ＊1	1280 × 720 画素、30 フレーム / 秒
1280 LP ＊2	1280 × 720 画素、30 フレーム / 秒、LP

＊1 初期設定

＊2 画質より撮影時間を優先したい場合は、［LP］（Long Play）の表示がある方を選んでください。同じファイル容量で約 2 倍の時間撮影ができます。

- 1 画像の容量（目安）（p. 143）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）（p. 141）

動画撮影中に静止画を撮る

撮影モード

動画の撮影中でも静止画*を撮ることができます。

*撮影前に設定していた静止画のアスペクト比、記録画素数、圧縮率になります。

1 **動画の撮影中に、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる**

- 半押しで静止画用にフォーカスと露出などを合わせ直します。このとき、電子音は鳴りません。この間、動画の撮影は継続されます。

2 **シャッターボタンを全押しして撮影する**

- 静止画を記録する間、液晶モニターの表示が一瞬消え、その後、動画表示に戻ります。静止画撮影時のシャッター音が記録されるため、その間の動画の音声は途切れます。

- ストロボは発光しません。
- 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切なISO感度を設定します。
- 静止画の連写はできません。
- 静止画を撮影すると、内部メモリーの空きがなくなり、動画撮影を停止することがあります。
- 記録メディアの記録速度が遅かったり、内部メモリーの空きがないときは、以下のアイコンが表示され、静止画撮影できないことがあります。
  - ：点滅中は書き込み処理中です。点灯に変わったら撮影できます。
  - ：内部メモリーがいっぱいで撮影できません。

録音の機能を設定する

撮影モード

マイクレベル（録音音量）とウィンドカットを変更できます。

1 （設定）メニュー▶［オーディオ］

メニュー操作（p. 23）



2 ［マイクレベル］▶［オート］*/［マニュアル］

*初期設定

- ［マニュアル］の場合、マルチコントローラーを ↓ に押して［録音レベル］を選び、←/→ に押して録音レベル（録音音量）を設定します。



3 ［ウィンドカット］▶［入］/［切］*

*初期設定

- 風が強いときに［入］にすることをおすすめします。
- ［入］に設定すると が表示されます。



- ［オート］の場合、録音音量が大きくなりすぎても、自動的に音割れを軽減します。
- ウィンドカットは、風が強いときに発生する雑音を低減できます。

パノラマ画像を撮る（スティッチアシスト）

撮影モード

スティッチアシストは、撮影した画像をパソコンで合成（スティッチ）し、パノラマ画像を作るときに使います。

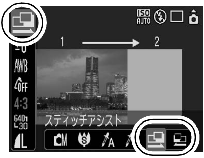




複数の画像をつなぎ合わせて、パノラマ画像を作成できます。

1 FUNC.メニュー ▶ *（マニュアル）▶ / （スティッチアシスト）

メニュー操作（p.22）



＊初期設定

- 次の2つの方向が選べます。
  - ：左から右方向へ水平に撮影します。
  - ：右から左方向へ水平に撮影します。

2 最初の画像を撮影する



- 1画像目の撮影で、露出やホワイトバランスが固定されます。

3 最初の画像にオーバーラップさせて、次の画像を撮影する

- マルチコントローラーを ◆/◆ に押すと、1つ前の撮影済みの画像に戻り、撮影のやり直しができます。
- オーバーラップは多少ずれても、合成時に修正されます。

4 同様の操作で3画像目以降を撮影する

- 最大26画像まで撮影できます。
- 最後の撮影後、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。

- 画像をテレビに表示しながらの撮影はできません。
- 2 画像目以降の撮影では、最初の撮影の設定が適用されます。

パソコンでの画像合成は、付属のソフトウェア「PhotoStitch」をお使いください。

フォーカス設定を切り換えて撮る

撮影モード

AF の設定を選択します。

SINGLE (シングル)	シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。通常はピント合わせを行わないため、消費電力を抑えることができます。
CONT (コンティニュアス)	シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた位置へ常にピントを合わせます。とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

1 （撮影）メニュー ▶ [AFモード] ▶ [SINGLE]*/[CONT]

メニュー操作（p. 23）

＊初期設定



ピントの合わせかたを切り換える

撮影モード

オートフォーカス枠（AF 枠）はピントを合わせるための枠です。以下のように AF 枠を選択できます。

顔優先 AF の設定

[ ]	入	カメラが自動的に顔の位置を検出し、顔にピントと露出*を合わせます。またストロボ発光時は、顔の明るさが適正になるように調光します。 ＊評価測光時のみ（p. 51）
□	切	中央の AF 枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

1 （撮影）メニュー ▶ [顔優先AF] ▶ [入]*/[切]

メニュー操作（p. 23）

＊初期設定



撮影する

- シャッターボタンを半押ししたとき、AF 枠の表示は、次のようになります。
  - 緑色：撮影準備完了
  - 黄色：ピントが合いにくいとき（顔優先 AF が［切］のとき）
- ［入］を選んだときは、以下のとおりです。
  - カメラが顔と認識した位置に枠が最大 3 つまで表示されます。このとき、カメラが主被写体と判断した箇所に白色の枠、そのほかの箇所にグレーの枠が表示されます。シャッターボタンを半押しすると、最大 9 つまで緑色の AF 枠が表示されます。
  - 白色の枠が表示されずにグレーの枠のみが表示された場合、または顔が検出されない場合は、AF モード（p. 46）の設定によって、ピントの合わせかたが次のように変わります。
    -［SINGLE］選択時：9 つの AF 枠の中からカメラが自動的に AF 枠を選択してピントを合わせます。
    -［CONT］選択時：中央の AF 枠でピントを合わせます。
  - 人物以外の被写体を、カメラが誤って顔と検知することがあります。このときは［切］にしてお使いください。
  - 顔が検出されない状況としては、以下のようなことが考えられます。
    ＜主な例＞
    - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
    - 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

ピントが合いにくい被写体を撮る（フォーカスロック、AFロック）

撮影モード

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- コントラストが極端に低い被写体
- 近いものと遠いものが混在する被写体
- 画像中央部が極端に明るい被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。

フォーカスロックで撮る

1 シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる

2 そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

、で操作できます。

1 シャッターボタンを半押ししながら、マルチコントローラーを ◆ に押す

- が表示されます。

2 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：マルチコントローラーを ◆ に押す

- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。
- フォーカスロックまたは AF ロック撮影をする場合、［顔優先 AF］を［切］にすると（p. 47）、中央の AF 枠 1 点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。
- 動画撮影中も AF ロックができます。

露出を固定して撮る(AEロック)

撮影モード

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

ストロボは必ず に設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボ発光時は、AE ロックできません。

1 **露出を固定したい被写体にピントを合わせる**

2 **シャッターボタンを半押ししながら、マルチコントローラーを ▲ に押す**

- AEL が表示されます。

3 **カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する**

解除のしかた：マルチコントローラを ▲ **に押す**

ストロボをお使いのときは、FE ロック（p. 51）で撮影してください。

FEロックで撮る

撮影モード

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 マルチコントローラーを⚡側に押し、◆/◆に押して⚡（常時発光）を表示する

2 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

3 シャッターボタンを半押ししながら、マルチコントローラーを▲に押す

●ストロボがプリ発光し、FELが表示されます。

4 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：マルチコントローラーを▲**に押す**

測光方式を切り換える

撮影モード

1 （撮影）メニュー▶［測光方式］▶ *＊/ /

メニュー操作（p. 23）

メニュー操作（p. 23）

＊初期設定



測光方式の種類

[評価測光アイコン]	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
[中央部重点平均測光アイコン]	中央部重点 平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
[スポット測光アイコン]	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

長秒時撮影（p. 53）するときは、評価測光に固定されます。

露出を補正する

撮影モード

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまう場合はプラス側に、夜景や背景が暗い場所での撮影で、被写体が明るくなってしまう場合にはマイナス側に露出を補正します。

1 **FUNC.メニュー ▶ ±0 *（露出補正）**

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

- マルチコントローラーを ◆/◆ に押して露出を補正し、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押します。



解除のしかた：補正値を「0」に戻す

シャッタースピードを設定する（長秒時撮影）

撮影モード

暗い被写体を明るく撮影したいときは、シャッタースピードを遅くして、撮影できます。

1 FUNC.メニュー▶ ±0 *（露出補正）▶ MENU

メニュー操作（p. 22）

*初期設定



2 マルチコントローラーを←/→に押し、シャッタースピードを選ぶ▶ FUNC. SET

- 数値が大きいほど明るくなり、数値が小さいほど暗くなります。
- このとき、MENUボタンを押すと、露出補正の設定画面に戻ります。



- 電源を切ると設定は解除されます。
- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、シャッタースピードが 1.3 秒以上のときに、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- 意図した明るさで撮影されているかは、液晶モニターで確認してください。
- シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれしやすくなります。手ぶれ補正を［切］以外に設定するか、三脚を使って撮影してください。
- ストロボを発光すると、露出オーバーになることがあります。その場合はストロボを にして撮影してください。
- 長秒時設定で撮影するときは、次の設定ができません。
  ・露出補正　・測光方式　・AE ロック
  ・FE ロック　・ISO 感度［オート］［高感度オート］
  ・ISO ブースター
  ・ストロボ［オート］
  ・スローシンクロ

色合いを調整する（ホワイトバランス）

撮影モード

通常は、AWB（オート）で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWB で自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

1 **FUNC.メニュー ▶ AWB*（オート）**

メニュー操作（p. 22）



＊初期設定

- マルチコントローラーを ◆/◆ に押してホワイトバランスを選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押します。

ホワイトバランスの種類

アイコン	設定	説明
AWB	オート	自動設定
	太陽光	晴天の屋外
	くもり	曇天や日陰、薄暮
	電球	電球、電球色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3 波長型）の蛍光灯
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものを取り込んで、最適な白データとしてカメラに記憶させてから撮影できます。

マイカラーが Se BW の場合、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを使うには

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。特に次のような場合、AWB（オート）では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、（マニュアル）で白データを取り込んでから撮影してください。

- 至近距離（マクロ）で撮影するとき
- 単一な色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき
- 水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC. メニュー ▶ AWB*（オート）▶ （マニュアル）

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定



2 白い紙や布にカメラを向け、(MENU)を押す

- 中央の枠いっぱいに、白い紙や布を表示させてください。ただし、デジタルズーム使用時は中央の枠は表示されません。

- 撮影モードを[CM]にし、露出補正を±0にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。オートで白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。
- スティッチアシストでは、白データの取り込みはできません。あらかじめ他の撮影モードで白データを取り込んでおいてください。

マイカラーで撮る

撮影モード

画像の印象を変えて撮影できます。

	マイカラー切	通常設定
	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした色合いにする
	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした色合いにする
	セピア	セピア色にする
	白黒	白黒にする
	ポジフィルムカラー	「あざやかブルー」・「あざやかグリーン」・「あざやかレッド」の効果を合わせたもので、青、緑、赤色をより鮮やかにする。ポジフィルムのようにナチュラルで色鮮やかな画像が撮影できます。
	色白肌*	人物の肌を色白にする
	褐色肌*	人物の肌を褐色にする
	あざやかブルー	青色を強調する。空や海などの青い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかグリーン	緑色を強調する。山や新緑、草花、芝生などの緑の被写体をより鮮やかに撮影できます。
	あざやかレッド	赤色を強調する。赤い花や赤い車などの赤い被写体をより鮮やかに撮影できます。
	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さを調節したり、赤 / 緑 / 青 / 肌色*のバランスを変更したりして撮影できます。「青色をもう少し鮮やかに」や「顔色をもう少し明るく」といった微調整ができます。

＊ 被写体に人物以外の肌色が含まれている場合は、その被写体の色も変更されることがあります。また、肌の色によっては、効果が現れない場合があります。

1 FUNC.メニュー ▶ 🄾 *(マイカラー切)

メニュー操作 (p. 22)



＊初期設定

- マルチコントローラーを ←/→ に押してマイカラーを選びます。
- 🄲 のとき
  「カスタムカラーモードを設定する(p. 59)」をご覧ください。
- 🄲 以外のとき
  マルチコントローラー(FUNC./SET)を押して撮影画面に戻します。

2 撮影する

カスタムカラーモードを設定する

コントラスト、シャープネス、色の濃さ、赤、緑、青、肌色の、それぞれのバランスを調整して撮影します。

1 **FUNC. メニュー ▶ [マイカラー切アイコン]*（マイカラー切）▶ [カスタムカラーアイコン]（カスタムカラー）▶ (MENU)**

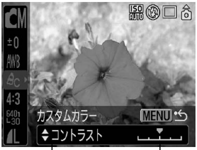
メニュー操作（p. 22）

＊初期設定



2 **マルチコントローラーを ▲/▼ に押して[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]、[赤]、[緑]、[青]、[肌色]のいずれかを選び、◀/▶ に押して調整する**

●調整結果が表示されます。



3 (FUNC. SET)

●設定を終了します。
このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

撮影する

色を変えて撮る

撮影モード

画像の色味を簡易的に変化させて撮影します。静止画だけでなく、動画でも利用でき、画像効果や映像効果を演出した撮影が楽しめます。ただし、撮影状況によっては、画像が粗くなったり、思い通りの色にならないことがあります。そのため、大切なシーンを撮影するときには、必ず事前に試し撮りすることをおすすめします。なお、静止画の場合には、[オリジナル保存] 機能（p. 64）を [入] にすれば、撮影した画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録できます。

	ワンポイントカラー	画面内の指定した色のみを残し、それ以外を白黒にして撮影できます。
	スイッチカラー	画面内の指定した色を別の色に変更して撮影できます。別の色の取り込みは 1 色のみで、複数の色から選択はできません。

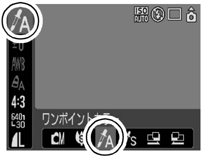
撮影シーンによっては、ISO 感度が上がり、画像にノイズが増えることがあります。

ワンポイントカラーモードで撮影する

1 FUNC.メニュー ▶ *（マニュアル）▶ （ワンポイントカラー）

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定

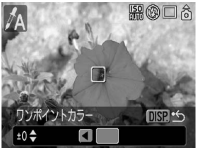


2 (FUNC. SET)

●ワンポイントカラーモードになります。

3 DISP.

●色取り込みモードになり、オリジナルの画像とワンポイントカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。



4 液晶モニターの中央の枠内に、残したい色が入るようにカメラを向け、マルチコントローラーを◆に押す

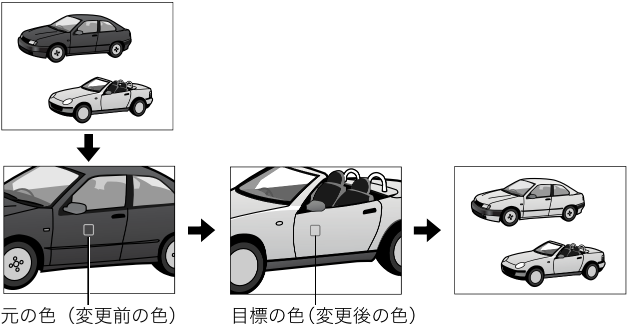
●指定できるのは1色です。

●マルチコントローラーを▲/▼に押すと、残したい色の範囲を変更できます。
−5：残したい色だけを取り込みます。
+5：残したい色に近い色も一緒に取り込みます。

5 DISP. で設定を終了し、撮影する

- 初期設定色は緑です。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

スイッチカラーモードで撮影する



1 FUNC.メニュー ▶ CM *（マニュアル）▶ ✍S（スイッチカラー）

メニュー操作（p. 22）

＊初期設定



2 (FUNC./SET)

●スイッチカラーモードになります。

3 (DISP.)

●色取り込みモードになり、オリジナルの画像とスイッチカラーの画像（前回設定した指定色が反映）が交互に表示されます。



4 液晶モニターの中央の枠内に、元の色が入るようにカメラを向け、マルチコントローラーを ◆ に押す

- 指定できるのは1色です。
- マルチコントローラーを ▲/▼ に押すと、変えたい色の範囲を変更できます。
  -5:変えたい色だけを取り込みます。
  +5:変えたい色に近い色も一緒に取り込みます。

5 液晶モニターの中央の枠内に、目標の色が入るようにカメラを向け、マルチコントローラーを ▶ に押す

- 指定できるのは1色です。

6 (DISP.) で設定を終了し、撮影する

- 初期設定色は、緑を白に変えて撮影するように設定されています。
- ストロボを発光して撮影すると、思いどおりの画像にならない場合があります。
- 指定した色と色の取り込み範囲は、電源を切っても記憶されます。

オリジナル画像の保存方法を変更する

ワンポイントカラー、スイッチカラーで静止画を撮影するときは、色を変えた画像だけでなく、オリジナル画像（色を変える前の画像）も記録するかどうかを設定できます。

1 (撮影)メニュー▶[オリジナル保存]▶[入]/[切]*

メニュー操作（p. 23）



＊初期設定

- [入]の場合､画像番号は連番になります｡オリジナル画像が早い番号､ワンポイントカラーやスイッチカラーで撮影した画像が後の番号です。

［オリジナル保存］を［入］に設定した場合

- 撮影時に液晶モニターに表示される画像は、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで設定している画像だけです。
- 撮影直後、液晶モニターには、ワンポイントカラーまたはスイッチカラーで撮影した画像が表示されます。このとき画像を消去すると、オリジナル画像も同時に消去されますので、十分に確認してから消去してください。
- 1 回の撮影で 2 画像記録されるため、液晶モニターに表示される記録可能画像数は、設定が［切］の場合の半分になります。

ISO ISO感度を変更する

撮影モード

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるためにシャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO 感度を上げます。

1 マルチコントローラーをISO側に押し、▲/▼に押して切り換える



- ▲/▼に押すごとに、ISO AUTO、ISO HI、ISO 80、ISO 100、ISO 200、ISO 400、ISO 800、ISO 1600の切り換えができます。
- ISO AUTO（オート）を選ぶと、撮影時の明るさに応じて最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるためシャッタースピードが速めになり、手ぶれが低減されます。
- ISO HI（高感度オート）*を選ぶと、ISO AUTOよりも感度が高めに設定されます。そのため、シャッタースピードがより速めになり、同じシーンを撮影してもISO AUTOに比べ、手ぶれや被写体ぶれが低減されます。
  * ISO AUTOに比べて撮影画像にノイズが増えることがあります。
- 撮影モードが（オート）のときは、ISO AUTO、ISO HIのみ選択できます。
- 長秒時撮影（p. 53）のときは、ISO AUTO、ISO HIは選択できません。

- 高いISO感度で撮影する場合には、カメラが自動的にノイズを低減する処理を行います。
- ISO AUTOまたはISO HIに設定した場合、シャッターボタンを半押ししたときや再生情報には、カメラが自動的に設定した ISO 感度が表示されます。

ISO感度をワンタッチで変更する (ISOブースター)

撮影モード

撮影時に手ぶれ警告（ ）が表示されたとき、 ボタンを押すだけで ISO 感度を上げ、手ぶれしにくいシャッタースピードで撮影することができます。

1 **（撮影）メニュー ▶ [ISOブースター] ▶ [入]/[切]＊**

メニュー操作（p. 23）

＊初期設定



2 **シャッターボタンを半押しする**

- が表示されると、 ボタンが青色に点滅します。



3 **シャッターボタンを半押ししたまま、 ボタンを押す。 ボタンが点灯に変わったら、そのままシャッターボタンを全押しする**

- シャッターボタンを半押しした状態で、再度 ボタンを押すと、ISO感度が元の設定に戻ります。
- ISO感度が上がった後に AEロック（p. 50）をすると、シャッターボタンを放しても、ISO感度変更モードは解除されません（AE ロックを解除するまで ボタンが青色に点灯します）。



- ISO HI、ISO 800、ISO 1600のとき、長秒時撮影時、ストロボ発光時は、動作しません。
- 撮影の状況によっては、ISO 感度を上げても、手ぶれ警告アイコン（）が消えないことがあります。

ボタンに機能を登録する

撮影モード

撮影時によく使う機能を ボタンに 1 つだけ登録できます。登録できる機能は以下のとおりです。

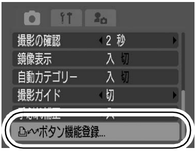
項目	参照先	項目	参照先
無効＊1	—	デジタルテレコン	p. 33
露出補正	p. 52	撮影ガイド	p. 38
ホワイトバランス	p. 54	ディスプレイオフ	p. 18
マニュアルWB（ホワイトバランス）	p. 68	効果音＊2	p. 68

＊1 初期設定

＊2 マイカメラメニューの［シャッター音］の 3 が登録されます。

1 （撮影）メニュー ▶［ ボタン機能登録］

メニュー操作（p. 23）



2 **マルチコントローラーを ▲/▼/◀/▶ に押して登録したい機能を選び、(FUNC. SET) を押す**

- アイコンの右下に ⃠ が表示されている場合、機能の登録はできますが、現在の撮影モードでは ボタンを押しても無効となります。



解除のしかた：手順 2 で を選択する

ボタンを使う

1 **ボタンを押す**

- ボタンを押すたびに、登録されている機能の設定が切り換わります。
  - と は設定画面が表示されます。
  - は、ボタンを押すたびに、白データを取り込みます。なお、このとき枠は表示されないので、液晶モニターの中央になるように白い紙や布をおいてから、ボタンを押してください。
  - は、ボタンを押すと音が鳴るので、撮影直前に被写体の注意をカメラに向けたいときに便利です。
- 現在の撮影モードでお使いになれない機能が設定されている場合は、ボタンを押しても操作はできません。

縦横自動回転の設定をする

撮影モード

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 （設定）メニュー▶[縦横自動回転]▶[入]*/[切]

メニュー操作（p. 23）



＊初期設定

- 撮影時に縦横自動回転を[入]にすると、液晶モニターに(情報表示ありのとき)、(通常)、(右が下)、または(左が下)が表示されます。

- カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
- 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。

画像の保存先（フォルダ）を作成する

撮影モード

任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します。

1 （設定）メニュー ▶［フォルダ作成］

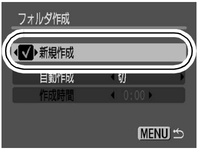
メニュー操作（p. 23）



次回撮影時にフォルダを作成する

2 ［新規作成］に、マルチコントローラーを ◆/◆ に押してチェックマークをつける ▶ MENU

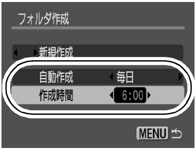
- 撮影時、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。



指定した日時にフォルダを作成する

2 [自動作成]で作成日を選び、[作成時間]で時刻を設定する▶ (MENU)

- 指定した時間になると、液晶モニターに [アイコン] が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。



ひとつのフォルダに最大 2000 画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

画像番号をリセットする

撮影モード

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

1 (設定)メニュー ▶ [画像番号] ▶ [通し番号]*/[オートリセット]

メニュー操作（p. 23）

＊初期設定



画像番号リセット機能について

通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけれらます。そのため、フォルダを変更したり、メモリーカードを交換＊1 したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。 ＊1 新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号が初期値（100-0001）に戻ります＊2。フォルダ単位で管理する場合に便利です。 ＊2 新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、そのメモリーカードに記録されている画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号の続きの番号になります。

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 〜 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 〜 999 までの番号が割り振られます。
ひとつのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

	フォルダを 新規に作成した場合	他のメモリーカードに 交換した場合
通し番号	メモリーカード 1 100 / 0001 ▶ 101 / 0002	メモリーカード 1　メモリーカード 2 100 / 0001 ▶ 100 / 0002
オートリセット	メモリーカード 1 100 / 0001 ▶ 101 / 0001	メモリーカード 1　メモリーカード 2 100 / 0001 ▶ 100 / 0001

・次の設定で撮影した画像は、必ずひとつのフォルダに保存されるため、2000 画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
  ・連続撮影　・セルフタイマー（カスタムの場合）　・スティッチアシスト
  ・静止画のワンポイントカラー / スイッチカラー（[オリジナル保存] が [入] の場合）

・同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。

・フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

基本編（p. 18）もご確認ください。

拡大して見る

1 ズームレバーを側に押す

- SET が表示され、拡大表示になります。
- 画像を最大約 10 倍まで拡大して表示できます。



表示位置の目安

2 マルチコントローラーを▲/▼または◀/▶に押し、表示位置を変更する

- 拡大再生中にマルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、画像送りモードになり、SET が表示されます。◀/▶ に押して拡大したまま前または次の画像を表示できます。再度マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、画像送りモードを解除します。
- ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた：ズームレバーを側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9画像ずつまとめて見る(インデックス再生)

1 ズームレバーを側に押す

- 9画像ずつ表示されます。
- マルチコントローラーを ▲/▼ または ◀/▶ に押し、選択画像を切り換えます。



9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にズームレバーを側に押すと、ジャンプバーが表示され、9 画像ずつ表示の切り換えができます。

- マルチコントローラーを ◀/▶ に押し、前または次の9画像を表示します。
- マルチコントローラー(FUNC./SET)を押しながらマルチコントローラーを ◀/▶ に押すと、最初または最後の9画像を表示します。



解除のしかた：ズームレバーを Q側に押す

カテゴリーに分けて管理する(マイカテゴリー)

画像を、あらかじめ用意されているカテゴリー（人物、風景、イベント、カテゴリー 1 ～ 3、作業用）に分類し、カテゴリー単位で管理することができます。カテゴリー単位に次の操作が行えます。

・画像検索（p. 77）　・スライドショー（p. 92）
・プロテクト（p. 97）　・消去（p. 102）　・印刷指定（p. 104）

1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作（p. 23）

●再生モードのとき ボタンを押すと、すぐに手順2の画面を表示できます。



2 マルチコントローラーを←/→に押してカテゴリーで分類する画像を選び、↑/↓に押してカテゴリーの種類を選んで (FUNC. SET) を押す

●1つの画像を複数のカテゴリーに分類することができます。
●インデックス再生にしても設定できます。
●再度マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと設定を解除できます。



消去や印刷、スライドショーなどの画像を管理するときは、［作業用］に分類すると便利です。

⏏ 目的の画像にジャンプする

メモリーカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	日付	各撮影日の先頭画像を表示する
	マイカテゴリー	各カテゴリーの先頭画像を表示する
	フォルダ	各フォルダの先頭画像を表示する
	動画	動画を表示する
	10 枚	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する

1 **シングル再生時に、マルチコントローラーを ⏏ 側に押す**

- 検索ジャンプモードになります。

2 **マルチコントローラーを ▲/▼ に押して検索キーを選ぶ**



- 検索キーによって、画面例は若干異なります。
- DISP.ボタンで、画像情報の表示/非表示の切り換えができます。

3 **画像を表示する**



- 10/100
  マルチコントローラーを ◀/▶ に押します。
- MENUボタンを押すと、解除します。

● ／／／
マルチコントローラーを ←/→ に押して再生したい日付、カテゴリー、フォルダ、動画を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。
- 絞込み再生モードに変わり、青い枠が表示されます。検索キーで指定した画像だけを再生できます。
- マルチコントローラーを 側に押し、絞込み再生モードを解除します。



以下の場合には、絞込み再生モードが解除されます。
- カテゴリー分けするとき
- レタッチマイカラーで効果をつけた画像、赤目補正を行った画像、あるいは編集した動画を新規保存するとき
- ［（再生）］メニューの［消去］から、画像を消去するとき

動画を見る

インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示し、(FUNC. SET) を押す

● SET の表示されている画像が動画です。

2 ▶(再生)を選び、(FUNC./SET)を押す

- 再生中にマルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、再生が一時停止します。再度マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、動画再生パネルが表示されます。
- 動画再生中にDISP.ボタンを押すと、再生バーの表示/非表示の切り換えができます。



- 前回、再生を中断した場合は、最後に再生したフレームから表示されます。

動画再生パネルの操作

↩	シングル再生に戻る
🖶	動画の印刷(プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。)
▶	再生
I▶	スロー再生(スロー再生の速度は、マルチコントローラーの ◀ で遅く、▶ で速くできます。)
I◀◀	先頭フレームを表示
◀II	フレーム戻し(マルチコントローラー(FUNC./SET)を押し続けると早戻しします。)
II▶	フレーム送り(マルチコントローラー(FUNC./SET)を押し続けると早送りします。)
▶▶I	最終フレームを表示
✂	編集(動画編集モードに切り換えます。)(p. 80)

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください(p. 100)。
- スロー再生中、音声は再生されません。

動画を編集する

撮影した動画の一部分を削除できます。

プロテクトされている動画、撮影時間が 1 秒未満の動画は編集できません。

1 **動画再生パネルの（編集）を選び、FUNC./SET を押す**

- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。

動画編集パネル



動画編集バー

2 **マルチコントローラーを ▲/▼に押して（前部を削除）または（後部を削除）を選び、◀/▶ に押して削除する位置（）を指定する**

- 仮編集した動画を確認するときは、▶（再生）を選んでマルチコントローラー（FUNC./SET）を押します。
- （終了）を選ぶと動画編集を中止し、動画再生パネルに戻ります。

3 **（保存）を選び、FUNC./SET を押す**

4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、(FUNC/SET)を押す



- [新規保存]:新しいファイル名をつけて保存します。編集前のデータは残ります。保存中にマルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、保存を中止できます。
- [上書き保存]:編集前の画像と同じファイル名で保存されます。編集前のデータは残りません。
- メモリーカードの空き容量が足りないときは、上書き保存しかできません。

編集した動画を保存するとき、ファイル容量によっては時間がかかる場合があります。途中でバッテリーがなくなると、編集した画像が保存できないことがありますので、動画を編集するときは、フル充電のバッテリーあるいはACアダプターキット ACK-DC10(別売)のご利用をおすすめします(p. 131)。

回転して表示する

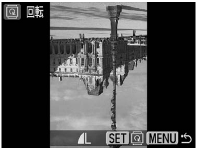
時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。



元画像



90度



270度

1 ▶(再生)メニュー ▶ 回転

メニュー操作(p. 23)



2 マルチコントローラーを ◆/◆ に押して回転する画像を選び、(FUNC. SET) を押して回転する

- マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すごとに、90度→270度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。

カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

効果をつけて再生する

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

(効果なし)	効果なし
(フェード)	表示中の画像が暗くなり、次の画像が徐々に明るく表示されます。
(スクロール)	マルチコントローラーの ◆ で左側から前の画像が、◆ で右側から次の画像が表示されます。

1 (再生)メニュー ▶ ▶ / * /

メニュー操作 (p. 23)

＊初期設定



赤目を補正する

目が赤く写ってしまった画像の赤目の部分を補正できます。
ただし、画像によっては赤目が自動的に検出されなかったり、思い通りに補正されない場合があります。
<主な例>

- 顔が画面の端にある、または画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗いまたは明るい
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている

1 **（再生）メニュー▶**

メニュー操作（p. 23）



2 **マルチコントローラーを←/→に押して赤目を補正する画像を選び、（FUNC./SET）を押す**



- 自動的に赤目を補正する位置に、枠が表示されます。
- 赤目が自動的に検出されなかった場合は、マルチコントローラーを←/→に押して［補正枠の追加］を選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押します（p. 85）。

3 **［補正実行］を選び、（FUNC./SET）を押す**



4 [新規保存]または[上書き保存]を選び、(FUNC./SET)を押す

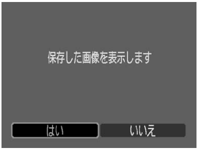
- [新規保存]：新しいファイル名をつけて保存します。補正前の画像は残ります。新規に保存された画像は撮影した画像の一番最後に保存されます。
- [上書き保存]：補正前の画像と同じファイル名で保存されます。補正前の画像は削除されます。



- [新規保存］の場合は、手順5へ進みます。

5 (MENU)を押し、[はい]または[いいえ]を選んでマルチコントローラー(FUNC./SET)を押す

- [はい］の場合は赤目補正した画像が表示され、[いいえ］の場合は再生メニューに戻ります。



- 動画は赤目補正できません。
- プロテクトされている画像は、上書き保存できません。

- メモリーカードの空き容量が足りないときは、赤目補正ができません。
- 何度でも赤目補正を行うことができますが、画質が低下することがあります。
- 一度赤目補正を行った画像は、自動的に補正枠は表示されませんので、[補正枠の追加］を選択してください。

補正枠を追加する

補正枠は、最大 35 個まで追加できます。

1 **マルチコントローラーを ←/→ に押して[補正枠の追加]を選び、(FUNC./SET) を押す**



2 **マルチコントローラーを ↑/↓/←/→ に押し、枠の位置を合わせて、(FUNC./SET) を押す**

- ズームレバーで枠の大きさを変えられます。



レタッチマイカラーで効果をつける

撮影した画像に、レタッチマイカラーで効果をつけることができます（静止画のみ）。レタッチマイカラーの種類は次のとおりです。効果の詳細は p. 57 をご覧ください。

	くっきりカラー		色白肌
	すっきりカラー		褐色肌
	セピア		あざやかブルー
	白黒		あざやかグリーン
	ポジフィルムカラー		あざやかレッド

1 **（再生）メニュー ▶**

メニュー操作（p. 23）



2 **マルチコントローラーを ◆/◆ に押して効果をつける画像を選び、(FUNC. SET) を押す**



3 マルチコントローラーを←/→に押して効果をつけたいレタッチマイカラーの種類を選び、(FUNC./SET)を押す



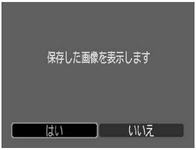
- レタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示されます。
- ズームレバーをQ側に押すと、拡大して確認できます。拡大表示中は、マルチコントローラー(FUNC./SET)でレタッチマイカラーで効果をつけた画像と効果がついていない元画像の切り換えができます。

4 [OK]を選び、(FUNC./SET)を押す



- 新規に保存されたレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、撮影した画像の一番最後に保存されます。
- 引き続き、他の画像に効果をつけたい場合は、手順2から操作を繰り返します。

5 (MENU)を押し、[はい]または[いいえ]を選んで(FUNC./SET)を押す



- [はい]の場合はレタッチマイカラーで効果をつけた画像が表示され、[いいえ]の場合は再生メニューに戻ります。

- メモリーカードの空き容量が足りないときは、レタッチマイカラーで効果をつけることができません。
- レタッチマイカラーで効果をつけた画像に、何度でもレタッチマイカラーで効果をつけることができますが、画質は徐々に低下したり、思いどおりの色にならないことがあります。
- マイカラーで撮影した画像（p. 57）と、再生時にレタッチマイカラーで効果をつけた画像は、画像の色味が若干異なる場合があります。

音声メモをつける

画像の再生中(シングル再生、インデックス再生)に、最長1分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプで保存されます。

1 **(再生)メニュー ▶**

メニュー操作（p. 23）



2 **マルチコントローラーを ←/→ に押して音声メモをつける画像を選び、(FUNC. SET) を押す**

- 音声メモパネルが表示されます。

3 ●（録音）を選び、(FUNC./SET) を押す

- 録音時間と録音可能時間が表示されます。
- マルチコントローラー（FUNC./SET）を押すと録音を一時停止します。再度マルチコントローラー（FUNC./SET）を押すと再開します。
- 1 画像につき、合計が 1 分に達するまで音声メモを追加できます。



音声メモパネルの操作

⮌	設定を終了します。
●	録音
■	停止
▶	再生
🗑	消去 表示される画面で［消去］を選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押します。

- 録音をする前に、［オーディオ］の設定（p. 44）が適切かご確認ください。
- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

音声だけを記録する(サウンドレコーダー)

画像を記録せず、音声だけを最長約 2 時間連続して録音できます。

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p. 23）



2 (録音)を選び、(FUNC./SET)を押す

- 録音時間が表示されます。
- マルチコントローラーを ▲/▼ に押すとサンプルレートを変更できます。[11.025kHz]、[22.050kHz]、[44.100kHz]＊の順に音質は良くなりますが、記録されるファイル容量は大きくなります。

  ＊初期設定
- マルチコントローラー（FUNC./SET）を押すと録音を停止します。再度マルチコントローラー（FUNC./SET）を押すと新しく録音が開始されます。



音声操作パネルの操作

アイコン	内容
(戻る)	操作を終了します。
●	録音
■	停止
▶	再生
◀◀	早戻し マルチコントローラー（FUNC./SET）を押し続けると、早戻しします。音声は再生されません。
▶▶	早送り マルチコントローラー（FUNC./SET）を押し続けると、早送りします。音声は再生されません。
(消去)	消去 表示される画面で［消去］または［全消去］を選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押します。
(プロテクト)	プロテクト マルチコントローラー（FUNC./SET）を押して設定、設定解除します。
(音量)	再生音量 マルチコントローラーを ▲/▼ に押して調節できます。

録音をする前に、［オーディオ］の設定（p. 44）が適切かご確認ください。

- サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間（目安）（p. 142）
- メモリーカードの容量がいっぱいになった時点で自動的に録音を終了します。

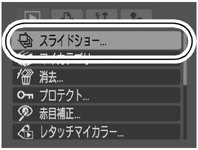
画像を自動再生する（スライドショー）

メモリーカード内の画像を自動再生します。
スライドショーの画像指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

	全画像	メモリーカード内のすべての画像を順に再生します。
	日付	指定した日付の画像を順に再生します。
	マイカテゴリー	指定したカテゴリーの画像を順に再生します。
	フォルダ	指定したフォルダ内の画像を順に再生します。
	動画	動画のみを順に再生します。
	静止画	静止画のみを順に再生します。
★1～★3	カスタム1～カスタム3	カスタム1～3でマークされている画像を順に再生します（p. 95）。

1 （再生）メニュー ▶

メニュー操作（p. 23）



2 、、、、、、★1～★3のいずれかを選ぶ

- 、、のとき：再生する日付、カテゴリーまたはフォルダを選びます（p. 94）。
- ★1～★3のとき：再生する画像を選びます（p. 95）。
- 効果をつけて再生する場合は、マルチコントローラーを↑に押して［効果］を選び、←/→に押して種類を選びます（p. 93）。



3 [スタート]を選び、(FUNC./SET)を押す



- 自動再生中は、次のことができます。
  - スライドショーの一時停止/再開：マルチコントローラー(FUNC./SET)を押す
  - 画像の送り/戻し：マルチコントローラーを ←/→ に押す(押し続けると早送りします。)
  - スライドショーの中止：MENUボタンを押す

効果の種類

画像の切り換え時に使用する効果を選択できます。

	効果なし
	次の画像が徐々に明るくなりながら、画面の下から上方向に表示されます。
	初めに十字型に画像が表示され、徐々に画像全体が表示されます。
	画像の一部が横方向に動きながら、徐々に画像全体が表示されます。

シングル再生時、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押しながらボタンを押すと、表示中の画像からスライドショーを開始できます。なお、最後に撮影した画像を表示中のときは、その画像と同じ日付の先頭の画像から開始されます。

再生する日付 / マイカテゴリー / フォルダを選ぶ（▦、▧、□）

1 ▦、▧または□を選び、(FUNC./SET)を押す

2 マルチコントローラーを▲/▼に押して再生する日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、(FUNC./SET)を押す



- 再度マルチコントローラー（FUNC./SET）を押すと選択を解除できます。
- 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
- マルチコントローラーを◀/▶に押すと、各日付、カテゴリー、またはフォルダの画像を確認できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

再生する画像を選ぶ（★1～★3）

スライドショーで再生したい画像だけをマークし、［カスタム 1］から［カスタム 3］に保存します。最大 998 画像まで指定でき、選択した順番に自動再生されます。

1 ★1～★3のいずれかを選び、(FUNC./SET)を押す

- 初めは、★1 だけが表示されます。★1 を設定すると、表示が ★1✓ に変わり、★2 が表示されます。★2 ★3 も、同じように表示が変わっていきます。

2 マルチコントローラーを←/→に押して再生する画像を選び、(FUNC./SET)で選択または選択を解除する

- インデックス再生にしても選択できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。

選択を表すチェックマーク

選択順の番号



すべての画像を指定するとき

1 手順 1 で、★1～★3 のいずれかを選んだ後、マルチコントローラーを↑に押して［全画像］を選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す
2 マルチコントローラーを↑に押して［全画像指定］を選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す
3 マルチコントローラーを→に押して［OK］を選び、マルチコントローラー（FUNC./SET）を押す

設定後に解除する場合には、［リセット］を選びます。

再生間隔やリピート設定をする

●再生間隔

スライドショーで1 画像を表示する時間を指定します。3*～10 秒、15 秒、30 秒を指定できます（画像によって再生間隔は多少異なります）。

*初期設定

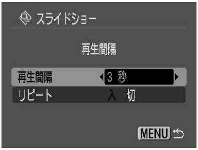
●リピート

スライドショーが一巡したら終了するか、繰り返し再生するかを設定します。

1 [設定]を選び、(FUNC. SET)を押す

2 [再生間隔]または[リピート]を選び、設定したい内容を選ぶ

●MENUボタンを押すと、設定を終了します。



画像をプロテクト(保護)する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトの設定ができます。

画像指定	画像を見ながら 1 画像ずつプロテクトの設定ができます。
日付で指定	指定した日付の画像にプロテクトの設定ができます。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内の画像にプロテクトの設定ができます。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像にプロテクトの設定ができます。
全画像	メモリーカード内のすべての画像にプロテクトの設定ができます。

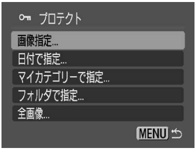
1 (再生)メニュー ▶

メニュー操作 (p. 23)



2 設定方法を選び、(FUNC. SET) を押す

- [全画像] の場合は、手順 5 へ進みます。



3 プロテクトする画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、(FUNC./SET)を押す

●[画像指定]
マルチコントローラーを ←/→ に押して画像を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。
- 再度マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すとプロテクトを解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。
- MENUボタンを押すと、設定を終了します。



プロテクトマーク

●[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]
マルチコントローラーを ↑/↓に押して日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。



- 再度マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと選択を解除できます。
- 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
- マルチコントローラーを ←/→ に押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

4 [日付で指定][マイカテゴリーで指定]、[フォルダで指定]の場合は、(MENU)を押す

5 [プロテクト]を選び、(FUNC./SET)を押す

●[解除]を選ぶと、選択した画像のプロテクトを解除し、手順2に戻ります。
●[中止]を選ぶと、プロテクト画像の選択を取り消し、手順2に戻ります。



ボタンに機能を登録する

再生モード時、動画ボタン（基本編 p. 3）に、他の機能を 1 つだけ登録できます。登録できる機能は以下のとおりです。

項目	参照先
無効*	–
サウンドレコーダー	p. 90
音声メモ	p. 88

＊初期設定

機能を登録する

1 **(再生)メニュー▶**

メニュー操作（p. 23）



2 **マルチコントローラーを←/→に押して、登録したい機能を選び、(FUNC./SET) を押す**

- 動画ボタンを押すと、登録した機能の設定画面が表示されます。そのまま続けて動画ボタンを押すと、録音が開始されます。



解除のしかた：手順 2 で を選択する

サウンドレコーダーを登録した場合、液晶モニターを閉じた状態でも録音が可能です。動画ボタンを 1 回押すと、赤いランプが点滅を始め、スタンバイ状態になります。そのまま続けて動画ボタンを押すと、赤いランプの点滅が早くなり、録音が開始されます。

テレビを使って再生する

付属のケーブルをお使いいただくと、テレビで画像を再生できます。日本国内で採用しているビデオ出力方式（NTSC）が初期設定になっています。

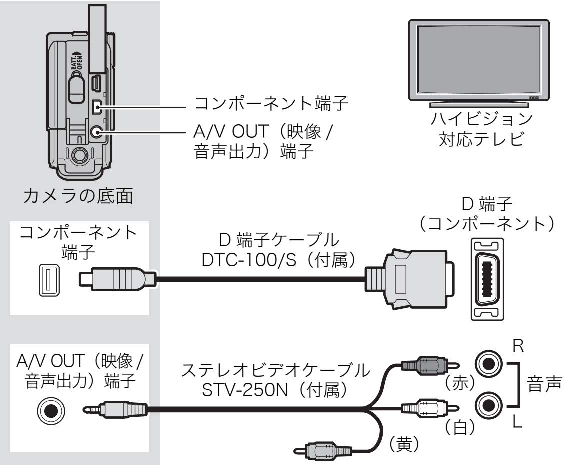
- ビデオ出力方式の設定方法（p. 27）
- テレビに画像を表示しながら撮影することもできます。なお、D 端子ケーブルをテレビに接続している場合は、D 端子ケーブルを取り外し、ステレオビデオケーブルのみ接続してください。
- 接続する機器の説明書もご確認ください。

ハイビジョン対応のテレビに接続する

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビを接続する

- D端子ケーブルで接続する場合は、音声を出力するためにステレオビデオケーブルも一緒に接続してください。



3 テレビの電源を入れ、入力切り換えを外部入力にする

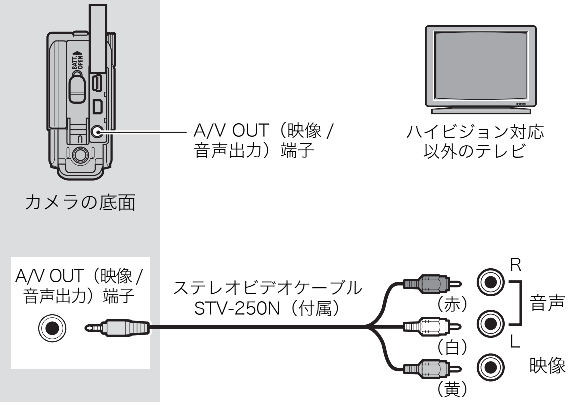
4 カメラの電源を入れる

D3/D4/D5 の入力に対応したテレビに接続できます。

ハイビジョン対応以外のテレビに接続する

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラとテレビを接続する



3 テレビの電源を入れ、入力切り換えを外部入力にする

4 カメラの電源を入れる

画像を消去する

メモリーカード内の画像を消去します。

画像指定	1 画像ずつ選択した後にまとめて消去します。
日付で指定	指定した日付の画像を消去します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリー内の画像を消去します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像を消去します。
全画像	メモリーカード内のすべての画像を消去します。

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

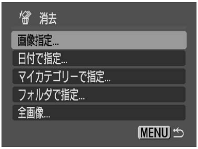
1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p. 23）



2 消去方法を選び、(FUNC. SET)を押す

- [全画像]の場合は、手順 5 へ進みます。



3 消去する画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、(FUNC./SET)を押す

●[画像指定]
マルチコントローラーを ←/→ に押して画像を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。
- 再度マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと選択を解除できます。
- インデックス再生にしても選択できます。

●[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]
マルチコントローラーを ↑/↓に押して日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。

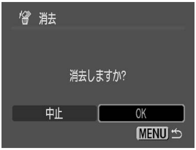


- 再度マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと選択を解除できます。
- 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
- マルチコントローラーを ←/→ に押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

4 (MENU)を押す

5 [OK]を選び、(FUNC./SET)を押す

●[中止]または[キャンセル]を選ぶと消去画像の選択を取り消し、手順2に戻ります。
●消去中にマルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、中止できます。



画像データだけでなく、メモリーカードの記録内容をすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化してください(p. 29)。

印刷指定 / 送信指定する

DPOFの印刷指定

メモリーカードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。なお、この指定は、DPOFに準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターで一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたメモリーカードの場合、⚠ が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

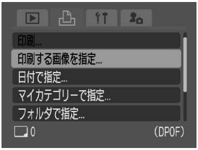
印刷する画像を指定	画像を見ながら 1 画像ずつ印刷指定します。
日付で指定	指定した日付の画像を印刷指定します。
マイカテゴリーで指定	指定したカテゴリーの画像を印刷指定します。
フォルダで指定	指定したフォルダ内の画像を印刷指定します。
すべての画像を指定	すべての画像に対して印刷指定します。
すべての指定を解除	画像の印刷指定をすべて解除します。

指定した画像に対して、1 枚ずつ印刷指定されます。[印刷する画像を指定] で印刷タイプ（p. 107）が [スタンダード] / [両方] の場合のみ、印刷枚数を指定できます。

1 モードダイヤル (再生) ▶ (印刷) メニュー ▶ 指定方法の選択 ▶ (FUNC./SET)

メニュー操作 (p. 23)

- [すべての画像を指定]の場合は、手順4へ進みます。



2 印刷する画像、日付、カテゴリー、フォルダを選び、(FUNC./SET) を押す

- [印刷する画像を指定]
  印刷タイプの設定(p. 107)によって異なります。

  スタンダード( )/両方( ):
  マルチコントローラーを ←/→ に押して画像を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押し、↑/↓ に押して印刷枚数を指定します(最大99枚まで)。

印刷枚数表示



  インデックス( ):
  マルチコントローラーを ←/→ に押して画像を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)で指定、指定解除を行います。

インデックス印刷の選択



  - インデックス再生にしても設定できます。
  - MENUボタンを押すと、設定を終了します。

●[日付で指定][マイカテゴリーで指定][フォルダで指定]
マルチコントローラーを ▲/▼に押して日付、カテゴリーまたはフォルダを選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。

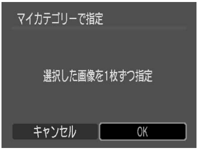


- 再度マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、指定を解除できます。
- 日付、カテゴリー、フォルダは複数選択できます。
- マルチコントローラーを ◀/▶ に押すと、各日付、カテゴリーまたはフォルダの画像を確認できます。

3 **[日付で指定]、[マイカテゴリーで指定]、[フォルダで指定]の場合は、(MENU)を押す**

4 **[OK]を選び、(FUNC. SET)を押す**

●[キャンセル]を選ぶと、印刷指定の選択を取り消し、手順1に戻ります。



● プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
● 動画は印刷指定できません。

● 画像番号の順に印刷されます。
● 最大 998 画像まで指定できます。
● プリンターに接続している場合、画像が指定されると ボタンが青色に点灯します。このとき、ボタンを押して、[印刷] が選択されていることを確認し、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押すと、印刷が開始されます。

印刷スタイルを設定する

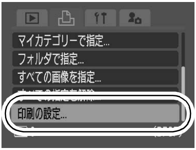
印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。次の内容を設定できます。

＊初期設定

印刷タイプ	スタンダード＊	用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス	画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方	スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付（入 / 切＊）		日付を入れて印刷します。
画像番号（入 / 切＊）		画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除（入＊ / 切）		印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

1 **モードダイヤル（再生）▶（印刷）メニュー ▶［印刷の設定］**

メニュー操作（p. 23）



2 **［印刷タイプ］、［日付］、［画像番号］、［印刷後指定解除］のいずれかを選び、設定したい内容を選ぶ**

- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - ［インデックス］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に設定できません。
  - ［スタンダード］または［両方］のとき
    ［日付］と［画像番号］を同時に［入］に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- 日付は、［日付 / 時刻］で設定した日付スタイルで印刷されます（p. 27）。

DPOFの送信指定

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF に準拠しています。

DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたメモリーカードの場合、⚠が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 画像ずつ指定する

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p. 23）



2 [画像指定]を選び、FUNC. SET を押す

- [リセット]を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 マルチコントローラーを ←/→ に押して送信する画像を選び、(FUNC./SET) を押す

- 再度マルチコントローラー（FUNC./SET）を押すと選択を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。

送信画像の選択



メモリーカード内のすべての画像を指定する

1 ▶（再生）メニュー ▶ 送信指定

メニュー操作（p. 23）



2 ［全画像］を選び、(FUNC./SET) を押す

- ［リセット］を選ぶと、送信指定をすべて解除します。



3 ［OK］を選び、(FUNC./SET) を押す

- 画像番号の順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

カメラを自分好みにする（マイカメラ機能）

カメラの起動画面や起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音を「マイカメラコンテンツ」と呼びます。これらを変更したり登録して、カメラを自分好みの設定に変えることができます。

マイカメラコンテンツを変更する

1 (マイカメラ)メニュー▶メニュー項目

メニュー操作（p. 23）



2 設定したいコンテンツを選ぶ

- すべて同じコンテンツに設定したいときは、[セット]を選びます。



マイカメラコンテンツを登録する

各コンテンツの［![2]］［![3]］には、メモリーカードに記録してある画像や新たに録音した音声を、マイカメラコンテンツとしてその場ですぐに登録できます。また、付属のソフトウェアを使うと、パソコンにある画像や音声、CANON iMAGE GATEWAY からダウンロードしたコンテンツをカメラに登録することもできます。

マイカメラコンテンツを初期設定に戻すには、パソコンが必要です。付属のソフトウェア（ZoomBrowser EX/ImageBrowser）を使い、初期設定のコンテンツをカメラに登録してください。

1 （マイカメラ）メニュー▶登録したいメニュー項目

メニュー操作（p. 23）



2 または を選び、DISP. を押す



3 登録したい画像を選択、または音声を録音する

- 起動画面

  マルチコントローラーを ←/→ に押して登録したい画像を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。



- 起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音

  ●(録音)を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。録音後、(登録)を選び、マルチコントローラー(FUNC./SET)を押します。



  - 録音時間が経過すると、自動的に録音が終了します。
  - 再生するときは、▶(再生)を選びます。
  - マイカメラメニューに戻るときは、(終了)を選びます。

4 [OK]を選び、(FUNC. SET) を押す

- 登録を取り消すときは、[キャンセル]を選びます。



- 以下は、マイカメラコンテンツに登録できません。
  - 動画
  - 音声メモ機能（p. 88）で録音した音声
  - サウンドレコーダー（p. 90）で録音した音声
- 新しいマイカメラコンテンツを登録すると、以前に登録されていたコンテンツは消去されます。

マイカメラコンテンツの登録、作成についての詳細は、付属のソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源スイッチを押してください（基本編 p. 10）。
メモリーカードスロットカバーまたはバッテリーカバーが開いています。	●メモリーカードスロットカバーまたはバッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください（基本編 p. 6、基本編 p. 7）。
バッテリーの残量が少なく、動作不能です（「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます）。	●十分に充電されたバッテリーをカメラに入れてください（基本編 p. 6）。 ●AC アダプターキット ACK-DC10（別売）を使用してください（p. 131）。
カメラとバッテリーの接触不良です。	●バッテリーの電極を先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください（p. 127）。

カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された	
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	●書き込み、消去、初期化したいときは、ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 129）。

日付 / 時刻の設定画面が表示された	
内蔵のリチウム充電池の容量がなくなっています。	●ただちに充電してください（基本編 p. 9）。

液晶モニター

カメラの起動時に画面が黒くなる	
マイカメラ機能の起動画面に、互換性のない画像が設定されています。	●マイカメラ機能で起動画面を変更するか (p. 110)、付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って初期設定に戻します。詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。
表示が黒くなる	
太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	●これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません）。
画面がちらつく	
蛍光灯の下で撮影しています。	●カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。
赤紫などの帯が表示された	
太陽や照明などの明るい被写体を撮影するときに表示されることがあります。	●これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。

が表示された	
光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	●手ぶれ補正を［切］以外に設定してください（p. 32）。 ●ISO 感度を上げてください（p. 65）。 ●ISO ブースターを［入］にしてください（p. 66）。 ●ストロボを（発光禁止）以外に設定してください（基本編 p. 14）。 ●セルフタイマーを設定し（基本編 p. 16）、三脚などでカメラを固定してください。

が表示された	
DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定されたメモリーカードです。	●このカメラでそれらの印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を変更すると、設定内容は、すべて書き換えられますので、ご注意ください（p. 92、p. 104）。

ノイズが表示される / 被写体の動きがぎこちない	
暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが自動的に液晶モニターに映し出される画像を明るくしました（p. 14）。	●記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
モードダイヤルを（再生）に合わせています。	●モードダイヤルを（オート）、M（マニュアル）、またはSCN（スペシャルシーン）にしてください（基本編 p. 11）。

液晶モニターを閉じています。	●液晶モニターを開いてください。
メモリーカードの空き容量がありません。	●新しいメモリーカードを入れてください（基本編 p. 7）。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
メモリーカードが正しく初期化されていません。	●メモリーカードを初期化してください（p. 29）。 ●メモリーカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。お客様相談センターにお問い合わせください。
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。	●ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 129）。

画像がぼやけている、ピントが合いにくい

シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●「が表示された」（p. 115）でご確認ください。
AF 補助光が [切] になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF 補助光が光ってピントを合いやすくします。AF 補助光が「切」だと機能しないので、「入」にして、AF 補助光を発光させてください（p. 24）。このとき、AF 補助光投光部に手がかからないように注意してください。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 136）。

ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロック、AF ロックで撮影してください（p. 49）。

撮影した画像の被写体が暗すぎる

撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを（常時発光）にしてください（基本編 p. 14）。
周辺部が明るすぎるため、狙った被写体の露出がアンダー（露出不足）になっています。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p. 52）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 50、p. 51）。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 137）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p. 65）。

撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする

被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 137）。
周辺部が暗すぎるため、狙った被写体の露出がオーバー（露出過多）になっています。	●露出補正値をマイナス側に設定してください（p. 52）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 50、p. 51）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが「常時発光」になっています。	●ストロボを（発光禁止）にしてください（基本編 p. 14）。

画像にノイズがある

ISO 感度が高すぎます。	●高いISO感度や (高感度オート)を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先する場合には、なるべく低い感度を選んでください（p. 65）。 ● 、 、 、 、 では、ISO 感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。

画像に白い点などが写る

ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側で撮影したときに、目立ちやすくなります。	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る

暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目に反射しました。	●［赤目緩和機能］を［入］に設定して撮影してください（p. 36）。赤目緩和を使うときは、写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。ただし、赤目緩和ランプが点灯するときに、効果を高めるため、約1秒間シャッターは切れませんのでご注意ください。 ●赤目で撮影された画像は、［赤目補正］で修正できます（p. 83）。

連続撮影速度が遅くなった

メモリーカードの性能が低下しました。	●連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでメモリー カードを物理フォーマットすることをおすすめします（p. 29）。

メモリーカードへの画像の記録時間が長い

違う機器で初期化したメモリー カードが入っています。	●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 29）。

レンズが出たままで収納されない

電源を入れたまま、メモリーカードスロットカバーまたはバッテリーカバーを開けました。	●メモリーカードスロットカバーまたは バッテリーカバーを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください（基本編 p. 6、基本編 p. 7）。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

以下のようなメモリーカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影/消去を繰り返した	●撮影時間が正しく表示されないときも、メモリーカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。メモリーカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いメモリーカードを除く）（p. 29）。

液晶モニターに「バッファー警告」(p. 15)が頻繁に表示される

カメラの内部メモリーがなくなると、バッファー警告がいっぱいまで表示され、撮影が自動的に終了します。	●以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にメモリーカードを物理フォーマットする(p. 29) - 記録画素数を小さくする(p. 41) - 高速のメモリーカード(SDC-512 MSH など)を使用する

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	●付属の ZoomBrowser EX や Image Browser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。詳細は、ZoomBrowser EX / Image Browser のソフトウェアガイド (PDF) をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	●ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください。詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。

動画を編集できない

他のカメラで撮影した動画は、編集ができない場合があります。

動画を正しく再生できない

大きい記録画素数と高いフレームレートで撮影した動画を、読み込み速度の遅いメモリー カードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム(コマ)落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

ビデオ出力方式をPAL 方式に設定し、320/L60で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。	●オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニターまたはパソコンで再生することをおすすめします。

メモリーカードからの画像の読み出しが遅い

違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。	●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 29）。

バッテリー/バッテリーチャージャー

バッテリーの消耗が早い

バッテリーの性能が十分に発揮されていません。	●バッテリーの取り扱いを、「取り扱い上の注意」（p. 127）でご確認ください。
常温（23 ℃）で使用しているときに消耗が早い場合は、バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（基本編 p. 6）。

バッテリーが充電できない

バッテリーの寿命です。	●新しいバッテリーと交換してください（基本編 p. 6）。

テレビ出力

テレビに出力できない / 画面が乱れる	
お使いの地域のビデオ出力方式に合っていません。	●正しいビデオ出力方式（NTSC またはPAL)に合わせてください(p. 27)。日本国内の出力方式は、「NTSC」です。
スティッチアシストで撮影しています。	●スティッチアシストではテレビに出力できません。他の撮影モードで撮影してください（基本編 p. 12)。
撮影モード時に、D 端子ケーブルで接続しています。	●撮影モード時に、D 端子ケーブルを接続しているとテレビに出力できません。D 端子ケーブルを取り外し、ステレオビデオケーブルのみ接続してください。

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない	
カメラとプリンターが正しく接続されていません。	●指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
プリンターの電源が入っていません。	●プリンターの電源を入れてください。
印刷接続方式が正しくありません。	●［ (設定)］メニューの［印刷接続方式］で［自動］を選択してください（p. 27)。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 ...
撮影した画像をメモリーカードに記録しています。または、再生モードを起動中です。
カードがありません
メモリーカードをカメラに入れずに、電源を入れました。または、メモリーカードが正しい向きに入っていません（基本編 p. 7）。
ライトプロテクト
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。
記録できません
メモリーカードがカメラに入っていない、または正しい向きに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。
カードが異常です
メモリーカードに異常がある可能性があります。異常のあるメモリーカードは、本製品で初期化するとお使いになれる場合があります。ただし、本製品付属のメモリーカードをお使いになっても、このエラーメッセージが表示される場合には、カメラの故障が考えられますので、修理受付窓口にお問い合わせください。
カードがいっぱいです
メモリーカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存はできません。また、これ以上、画像指定、サウンドレコーダーや音声メモの録音はできません。

ファイル名が作成できません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで［画像番号］を［オートリセット］に設定してください。または、必要な画像をパソコンに取り込んだ後、メモリーカードを初期化してください。なお、初期化すると、メモリーカード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

バッテリーの残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに充電されたバッテリーに交換するか、バッテリーを充電してください。また、バッテリーの取扱いは、「取り扱い上の注意」（p.127）でご確認ください。

画像がありません

メモリーカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

4992 × 3328 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像（パソコンで編集した画像など）を再生しようとしました。

RAW

RAW タイプで記録された画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

データが破壊されている画像、互換性がない画像（他社カメラ特有の記録タイプなど）、パソコンで編集した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、またはパソコンに取り込んで加工した画像を回転させようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声のタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。また、音声の再生もできません。

登録できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画を起動画面に登録しようとしました。

処理できない画像です

このカメラ以外で撮影した画像、または動画にレタッチマイカラーで効果をつけようとしました。または、このカメラ以外で撮影した画像の赤目を補正しようとしました。

処理できません

このカメラ以外で撮影した画像をカテゴリー分けをしようとしました。

処理できませんでした

赤目を検知しなかったため、赤目補正処理ができませんでした。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、データが破壊された画像や別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしました。または、[パソコンの背景]を選び、動画を指定しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定、またはスライドショーの画像指定を一部保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

通信エラー

メモリーカードに大量の画像（1000 画像程度）があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを起動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示されるときは、レンズの故障が考えられますので、修理受付窓口へお持ちください。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えて修理受付窓口へお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

バッテリーの取り扱い

バッテリー残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

バッテリー残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに充電してください。

バッテリーを交換してください

バッテリーの残量が少なく、動作不能です。ただちにバッテリーを交換してください。

取り扱い上の注意

● **バッテリーの端子は、常にきれいにしておいてください。**

汚れていると、接触不良の原因となります。充電や使用する前に、先の細いやわらかい綿棒などで乾拭きしてください。

● **低温下では、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコン（）が早めに表示されることがあります。**

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

● **ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。**

バッテリーがショートするおそれがあります。

●キーホルダーなどの金属類でバッテリーの「⊕」と「⊖」の端子を接触（ショート）させないでください（図 A)。持ち運ぶときや、お使いにならないときは、必ず端子カバーを取り付けてください（図 B)。

バッテリーパックの破損の原因となることがあります。
端子カバーの取り付けかたによって、バッテリーの充電状態を確認することができます（図 C、D)。

図 A

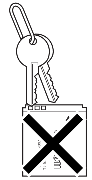


図 B

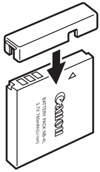
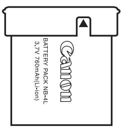


図 C
充電済バッテリー



「▲」が見えるように取り付けます。

図 D
使い切ったバッテリー



図Cの逆に取り付けます。

●バッテリーを使い切ってから、湿度の低い室温 (0 ～ 30 ℃) で保管してください。

フル充電の状態で長期間（1 年くらい）保管すると、バッテリーの寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。また長期間使用しないときは、1 年に 1 回程度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

充電する

●このバッテリーはリチウムイオン充電池のため、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。

●バッテリーを使い切った状態からフル充電になるまでの時間は、約 1 時間 30 分です。（当社測定基準による）

・5 ～ 40 ℃の範囲で充電することをおすすめします。

・充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。

●使用する当日または前日に充電してください。

充電しておいたバッテリーも、少しずつ自然に放電しています。

●規定の充電をしたにもかかわらず、著しく使用できる時間が低下するときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

- この製品には充電式のリチウムイオン電池を使用しています。
- リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リチウムイオン電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ上で確認できます。

Li-ion

- 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。
- リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。
  - 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
  - 「有限責任中間法人　ＪＢＲＣ」および「キヤノン / キヤノンマーケティングジャパン」

有限責任中間法人　ＪＢＲＣ ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
キヤノンサポートページ
canon.jp/support

メモリーカードの取り扱い

SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチについて



取り扱い上のご注意

●曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。

●分解したり、改造しないでください。

●端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。

●貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。

●文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。

●下記の場所で使用したり、保管しないでください。

・ほこりや砂ぼこりの立つ場所

・高温多湿の場所

●大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

電気ノイズ、静電気、カメラやメモリーカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします。

・付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

・キヤノン製以外のメモリーカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したメモリーカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

●正しく初期化されないときは、電源を切ってから、メモリーカードを入れ直し、再度初期化してください。

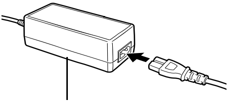
●カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

ACアダプターキット(別売)の使いかた

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK-DC10 (別売) のご利用をおすすめします。

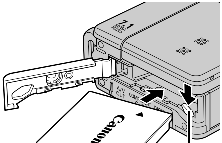
カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

1 **コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む**

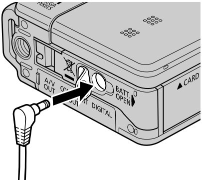


2 **バッテリーカバーを開き、バッテリーロックを矢印の方向に押しながら、DCカプラーがロックされるまで押し込む**

- バッテリーカバーを元の位置に戻します。



3 **DCカプラー端子カバーを開き、DC端子を接続する**

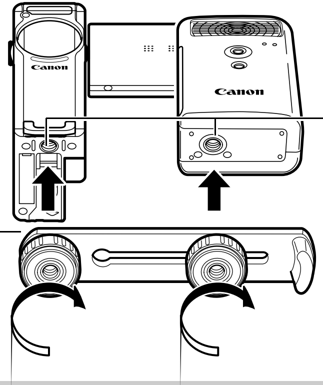


付録

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。まず最初にカメラの液晶モニターを開き、次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123A または DL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

電池について

●電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

●寒冷地でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

●お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

海外で使うとき

電源について

海外でもお使いになれます。

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。

変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

テレビでの再生

海外でご使用になる際は、ステレオビデオケーブルをお使いください。ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p. 27）。

コンパクトパワーアダプターやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

世界時計を設定する（p. 19）

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りの修理受付窓口（別紙でご確認ください）にご相談ください。

液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot TX1

カメラ部有効画素数	：約 710 万画素
撮像素子	：1/2.5 型 CCD（総画素数 約 740 万画素）
レンズ	：6.5（W）－ 65.0（T）mm (35mm フィルム換算 39（W）－ 390（T）mm) F3.5（W）－ F5.6（T）
デジタルズーム	：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 40 倍）
液晶モニター	：1.8 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約 11.5 万画素、視野率 100%
AF 方式	：TTL オートフォーカス 顔優先 AF：入（顔優先＊1）/ 切（1 点＊2） ＊1顔が検知できないときは、選択するモードによって次のようになる。 AF モード「SINGLE」時：9 点 AiAF AF モード「CONT」時：中央 1 点 AF ＊2中央固定
AF モード	：SINGLE/CONT
撮影距離（レンズ先端より）	：通常撮影：50cm ～∞ マクロ撮影：10 ～ 50cm（W） ：遠景撮影：3 m ～∞ スーパーマクロ：0 ～ 10cm（W）
シャッター	：メカニカルシャッター ・電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/2500 秒 ・撮影モードによって異なる ・シャッタースピードが 1.3 秒以上のときは、ノイズリダクション処理あり
手ぶれ補正	：レンズシフト式 入 / 撮影時＊ / 流し撮り＊ / 切 ＊静止画のみ
測光方式	：評価＊1/ 中央部重点平均 / スポット＊2 ＊1顔優先 AF 時は顔の明るさを考慮 ＊2測光枠は中央固定

(W)：ワイド端　(T)：テレ端

露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）
ISO 感度 （標準出力感度・ 推奨露光指数）	：オート*、高感度オート*、ISO 80/100/200/400 /800/1600 *オート、高感度オート設定時は、カメラが最適値に自動設定
ホワイトバランス	：オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H / マニュアル
内蔵ストロボ	：オート* / 常時発光* / 発光禁止 *赤目緩和、FE ロック、スローシンクロ設定可能
内蔵ストロボ撮影範囲	：通常撮影：50cm 〜 2.0m（W）/1 〜 1.2m（T） マクロ撮影：35 〜 50cm（W） （ISO 感度設定：オート）
撮影モード	：オート / マニュアル* / スーパーマクロ** / ワンポイントカラー** / スイッチカラー** / スティッチアシスト** / スペシャルシーン*** / 動画 *：長秒時撮影可能 **：マニュアルモードで選択可 ***：ポートレート、ナイトスナップ、パーティー / 室内、新緑 / 紅葉、スノー、ビーチ、水族館
連続撮影	：約 2.2 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき） 約 1.1 画像 / 秒（AF 連続撮影、ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
記録媒体	：SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード /MMC*plus* カード
ファイルフォーマット	：DCF 準拠*、DPOF 対応 * DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

（W）ワイド端　（T）：テレ端

データタイプ	：静止画：Exif 2.2（JPEG）＊ ：音声メモ、サウンドレコーダー：WAVE（ステレオ） ：動画：AVI（画像データ：Motion JPEG、音声データ：WAVE（ステレオ）） ＊ このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル
記録画素数（静止画）	：ラージ　：3072 ×2304 画素 ：ミドル 1　：2592 ×1944 画素 ：ミドル 2　：2048 ×1536 画素 ：ミドル 3　：1600 ×1200 画素 ：スモール　：640 × 480 画素 ：ワイド　：3072 ×1728 画素
記録画素数 （動画）	：1280 × 720 画素、30 フレーム / 秒 ：1280 × 720 画素、30 フレーム / 秒、LP ：640 × 480 画素、30 フレーム / 秒 ：640 × 480 画素、30 フレーム / 秒、LP ：320 × 240 画素、60 フレーム / 秒 ：320 × 240 画素、30 フレーム / 秒 メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能＊（1 回の最大記録容量：4GB ＊＊） ＊：超高速のメモリーカード使用時（推奨メモリーカード：SDC-512MSH） ＊＊：記録容量が 4GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、4GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

再生モード	：シングル再生（ヒストグラム表示可能）/ インデックス再生（サムネイル 9 画像）/ 拡大再生（液晶モニター上で最大約 10 倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能）/ 赤目補正 / マイカテゴリー / ジャンプ（日付 / マイカテゴリー / フォルダ / 動画 /10 枚 /100 枚。インデックス再生時は、9 画像ごとに再生）/ スライドショー /レタッチマイカラー / 音声メモ（最長 1 分まで記録 / 再生が可能）/ 動画再生（編集 / スロー再生可能）/ サウンドレコーダー（最長 2 時間まで記録 / 再生が可能）
ダイレクトプリント方式	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
マイカメラ（カスタマイズ）機能	：起動画面 / 起動音 / 操作音 / セルフタイマー音 / シャッター音
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed（mini-B） 映像出力端子（NTSC または PAL 切換可能）/ 音声出力端子（ステレオ音声） 特殊コネクター：コンポーネント出力（D3（1080i）対応）
通信プロトコル設定	：MTP、PTP
電源	：バッテリーパック NB-4L（専用リチウムイオン充電池）
動作温度	：0 ～ 40 ℃
動作湿度	：10 ～ 90%
大きさ（突起部を除く）	：88.8 × 59.9 × 29.0mm
質量（本体のみ）	：約 220g

付録

バッテリー性能（バッテリーパック NB-4L（フル充電））

撮影画像数 （CIPA測定法準拠）	再生時間
約160画像	約4時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、バッテリーの性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23±2℃）・常湿（50±20%）で、2回に1回ストロボを発光させながら、30秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。
・キヤノンブランドのメモリーカードを使用
＊バッテリーの温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23±2℃）・常湿（50±20%）の環境において、1画像あたり3秒間隔で連続再生。

バッテリーの取り扱いについて（p. 127）

メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）

：付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L（ラージ）3072 × 2304 画素	S	9	40	156
		15	64	251
		33	134	520
M1（ミドル 1）2592 × 1944 画素	S	11	49	190
		21	87	339
		42	173	671
M2（ミドル 2）2048 × 1536 画素	S	18	76	295
		33	136	529
		66	269	1041
M3（ミドル 3）1600 × 1200 画素	S	30	121	471
		53	217	839
		102	411	1590
S（スモール）640 × 480 画素	S	114	460	1777
		177	711	2747
		278	1118	4317
W（ワイド）3072 × 1728 画素	S	12	53	207
		21	86	335
		43	177	686

・　：スムーズ連写（p. 37）できます。（物理フォーマット時）
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件により変わります。

■動画

□：付属のメモリーカード

	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
1280 × 720 画素 30 フレーム / 秒	6 秒	26 秒	1 分 42 秒
1280 × 720 画素 30 フレーム / 秒、LP	12 秒	50 秒	3 分 17 秒
640 × 480 画素 30 フレーム / 秒	14 秒	58 秒	3 分 48 秒
640 × 480 画素 30 フレーム / 秒、LP	26 秒	1 分 48 秒	6 分 59 秒
320 × 240 画素 60 フレーム / 秒	20 秒	1 分 21 秒	5 分 17 秒
320 × 240 画素 30 フレーム / 秒	35 秒	2 分 24 秒	9 分 19 秒

サウンドレコーダーの音声サイズと記録時間（目安）

□：付属のメモリーカード

	音声サイズ	32MB	SDC-128M	SDC-512MSH
11.025kHz	44KB/ 秒	12 分 6 秒	48 分 30 秒	3 時間 7 分 8 秒
22.050kHz	88KB/ 秒	6 分 3 秒	24 分 15 秒	1 時間 33 分 34 秒
44.100kHz	176KB/ 秒	3 分 2 秒	12 分 7 秒	46 分 47 秒

1 画像の容量（目安）

記録画素数		圧縮率		
		S	F	N
L	3072 × 2304 画素	3045KB	1897KB	902KB
M1	2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M2	2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
M3	1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S	640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
W	3072 × 1728 画素	2304KB	1420KB	678KB

		容量
1280	1280 × 720 画素 30 フレーム / 秒	4480KB/ 秒
1280 LP	1280 × 720 画素 30 フレーム / 秒、LP	2280KB/ 秒
640 30	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒	1960KB/ 秒
640 LP	640 × 480 画素 30 フレーム / 秒、LP	1020KB/ 秒
320 60	320 × 240 画素 60 フレーム / 秒	1370KB/ 秒
320 30	320 × 240 画素 30 フレーム / 秒	746KB/ 秒

SD メモリーカード

インターフェース	：SDメモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	：32.0×24.0×2.1mm
質量	：約2g

マルチメディアカード

インターフェース	：マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	：32.0×24.0×1.4mm
質量	：約1.5g

バッテリーパック NB-4L

形式	：リチウムイオン充電池
公称電圧	：DC 3.7V
公称容量	：760mAh
充放電	：約300回
使用温度	：0～40℃
大きさ	：35.4×40.3×5.9mm
質量	：約17g

バッテリーチャージャー CB-2LV

定格入力	：AC100～240V（50/60Hz） 0.1A（100V）～ 0.06A（240V）
定格出力	：DC 4.2V、0.65A
充電時間	：約1時間30分
使用温度	：0～40℃
大きさ	：53.0×86.0×19.5mm
質量	：約60g

コンパクトパワーアダプター CA-DC10
（別売の AC アダプターキット ACK-DC10 に付属）

定格入力	：AC100～240V（50/60Hz）
定格出力	：DC 4.3V、1.5A
使用温度	：0～40℃
大きさ	：42.6×104.4×31.4mm
質量（電源コードを除く）	：約180g

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

- **バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス**
- **オンラインアルバムサービス**
- **携帯電話アルバム通知・閲覧サービス**
- **ホームプリンティングサービス**
- **プリント注文サービス（有料）**
- **オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）**
- **マイカメラコンテンツのダウンロード**

http://www.imagegateway.net/

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

＊インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。
＊プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

「基」は基本編の略です。

数字 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

MEMO

MEMO

MEMO

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後７年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

各撮影モードで設定できる機能一覧

撮影状況に合わせて各種設定を行い、撮影してください。

撮影モード／機能				M				SCN	動画	参照ページ
				M		A / S				
アスペクト比			○	○	○	○	–	○	○	p. 30
記録画素数(静止画)	4:3	L	●	●	●	●	▲	●	–	p. 31
		M1	○	○	○	○	△	○	–	
		M2	○	○	○	○	△	○	–	
		M3	○	○	○	○	△	○	–	
		S	○	○	○	○	△	○	–	
	16:9	W	○	○	○	○	–	○	–	
圧縮率(静止画)	スーパーファイン		○	○	○	○	△	○	–	p. 31
	ファイン		●	●	●	●	▲	●	–	
	ノーマル		○	○	○	○	△	○	–	
記録画素数/フレームレート(動画)			–	–	–	–	–	–	○1)	p. 41
ストロボ	オート		●	○2)	–	○	–	○3)4)	–	基本編 p. 14
	常時発光		–	○	–	○	△	○	–	
	発光禁止		○	●	●	●	▲	○3)	–	
スローシンクロ			–	○	–	–	△	–	–	p. 36
赤目緩和機能			○	○	–	○	△	○3)	–	p. 36
マクロ撮影			○	○	–	○	△	○	○	基本編 p. 15
遠景撮影			–	○	–	○	△	○	○	
AFロック		AFL	–	○	○	–	–	–	○	p. 49
AEロック		AEL	–	○	○	–	–	–	○	p. 50
FEロック		FEL	–	○	–	–	–	–	–	p. 51
撮影方法	1画像撮影		●	●	●	●	●	●	●	–
	連続撮影		–	○	○	–	–	○	–	p. 37
	AF連続撮影		–	○	○	–	–	○	–	p. 37
	セルフタイマー10秒		○	○	○	○	○	○	○	基本編 p. 16
	セルフタイマー2秒		○	○	○	○	○	○	○	
	カスタムセルフ		○	○	○	–	–	○	–5)	
顔優先AF			○	○	○	○	–	○	–	p. 47
AFモード	SINGLE		●	●	●	●	▲	●	●	p. 46
	CONT		○	○	○	○	△	○	○	
AF補助光			○	○	○	○	△	○3)	○	p. 24

機能 ＼ 撮影モード			M				SCN	動画	参照ページ
デジタルズーム[6]		○	○	○	－	－	○	○	p. 33
デジタルテレコン[6]		○	○	○	－	－	○	○	p. 33
測光方式	評価測光	○	●[2]	●	○	○	○	○	p. 51
測光方式	中央部重点平均測光	－	○[2]	○	－	－	－	－	p. 51
測光方式	スポット測光	－	○[2]	○	－	－	－	－	p. 51
露出補正		－	○	○	－	△	○	－	p. 52
露出シフト		－	－	－	－	－	－	○	p. 40
長秒時撮影		－	○	－	－	－	－	－	p. 53
ホワイトバランス		－[7]	○	○	－[7]	△	－[7]	○	p. 54
マイカラー		－	○	○	－	△	－	○	p. 57
ISO感度		○[8]	○[9]	○	－[7]	－[7]	－[7]	－	p. 65
ISOブースター[10]		○	○[2]	○	－	－	－	－	p. 66
鏡像表示		○	○	○	○	－	○	○	p. 24
縦横自動回転		○	○	○	○	△	○	○	p. 69
自動カテゴリー		○	○	○	○	－	○	○	p. 24
撮影ガイド		○	○	○	○	－	○	○	p. 38
手ぶれ補正		○	○	○	○	△	○	○[11]	p. 32
ボタン機能登録		○	○	○	○	△	○	○	p. 67

○：設定可（●：初期設定）　△：最初の1画像のみ設定可（▲：初期設定）

：電源を切っても解除されません。

1）動画（）の記録画素数 / フレームレートについて（p. 41）。
2）長秒時撮影では設定できません。
3）ストロボの初期設定は以下のとおりです。
・：オート
・：発光禁止
4）では設定できません。
5）撮影開始時間のみ設定が有効になります。
6）［16：9］のアスペクト比を選択時は設定できません。
7）カメラが自動的に設定します。
8）のみ設定できます。
9）長秒時撮影では、は設定できません。
10）では、お使いになれません。
11）［撮影時］、［流し撮り］に設定後、動画を撮影する場合は［入］に設定変更されます。